

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	30	3.利用用途別分類	庁舎等施設								
2.施設名	宮崎市田野総合支所	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2818	15.設置根拠法令	地方自治法								
6.バス停	田野総合支所前(60m)	16.設置条例	宮崎市の地域自治区の設置等に関する条例								
7.開設年月日	昭和53年10月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	近隣商業地域										
11.財産区分	公用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町域の市民に行政サービスを提供する拠点として、昭和53年建築の旧田野町役場を引き続き総合支所として利用している。現在は地域市民福祉課など2課、職員66人が勤務している。平成23年度に空調設備、平成30年度に屋上防水改修、令和4年度に受変電設備、令和5年度に消火栓設備更新の更新を行っている。		19. 内部	 							
13.主な利用者	市民及び市職員										
14.利用者駐車可能台数	70台										
20.避難所の指定(標高)	— 128.40 m										
21.投票所の指定	有										
22. 土地情報	土地面積	6,746.21 m ²		24. 建物情報	総延床面積	4,186.46 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	597612千円 (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1978年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		—	前年比%	—	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	—	—	—	—	借受面積	0.00 m ²					
	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—					
—	—	—	—	未利用スペース	0 m ²						
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	177	86.8	204	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	390,806	97.8	399,772	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	35,806	70.9	50,472	—
	その他③	177	86.8	204	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	1	—	0	—		人に係るコスト	355,000	101.6	349,300	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	177	86.8	204	—	支出合計⑩	390,806	97.8	399,772	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	—	—	—	28.工事請負費・修繕費	18,958	59.3	31,945	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	177	86.8	204	—	31. 市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	390,629	97.8	399,568	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—		
32.施設所管課	管財課		33.施設主管課	管財課							

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	30	3.利用用途別分類	庁舎等施設				
2.施設名	宮崎市田野総合支所	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				D		
	品質評価の評価(偏差値)				47.1		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				49.1		
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	42.100 年	41.7	31.500 年	
			劣化度点数(棟平均)	2.300 件	46.7	1.600 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点	
			クレーム点数	4.000 点	46.1	4.400 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件	
			評価値		47.1		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			市負担割合	99.950 %	46.3	92.637 %	
			市負担額(ソフト)前年比	101.100 %	46.2	92.708 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	93.308 千円	54.9	155.878 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値		49.1		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	30	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市田野総合支所	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	田野総合支所は昭和53年建築である。旧田野町役場から引き続き総合支所として宮崎市の公共サービスを提供するために必要な施設であり重要な建物である。そのような特性から利益を求めるとは限界があると分析する。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数【原因】昭和53年建築でRC造躯体の対応年数が50年から60年とされているためである。 ②【評価指標】劣化度点数【原因】外壁が劣化している部分があることが原因である。 ③【評価指標】クレーム点数【原因】混雑時の駐車場不足のクレームが寄せられる。 ④【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均)【原因】正面玄関以外の段差が原因である。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担額割合、市負担額(ソフト)前年比の評価が低い【原因】公民館や体育施設などは施設の設置目的が異なり、市行政サービスの提供のため市負担額の評価の割合が低くなっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	田野総合支所は合併した田野地区の必要な行政サービスを提供している。その他の総合支所も各地区の必要な行政サービスを提供している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、田野文化会館(農村環境改善センター)、宮崎市田野運動公園、田野駅自転車駐車場、田野駅前広場、田野小学校、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野児童センター、田野中学校、南原1号街区公園、宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)、南原4号街区公園、南原団地、宮崎市消防団田野分団第9部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第7部消防団車庫、宮崎市田野物産センター、外12施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	防災支援拠点として位置付けられており、災害時には地域の防災拠点となる。	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道269号線から約1km北に位置し、田野駅も近隣にあり交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建替え時期】2050-2080年代 【建替えの事業費(概算)】15.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	田野総合支所は令和4年度に受変電設備の更新、令和5年度に屋内消火栓設備の更新を行っている。今後は照明設備のLED化を検討していく予定。	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	30	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市田野総合支所	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は受変電設備や屋内消火栓設備を更新しているため「継続」とする。 また、機能評価は地域の行政サービスの継続のため「継続」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	庁舎の長寿命化を進めるため、他庁舎の工事施工時期を調整しながら年次的に大規模改修を行い、庁舎の老朽化の進行を抑制している。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	庁舎の長寿命化をすすめる中で、屋上防水や外壁改修、空調設備、電気設備などの標準耐用年数以上の使用期間を設定し、改修・更新工事を行う場合は優先順位の検討を行い、必要な工事を関係課と協議しながら工事を行う。また、今後庁舎をどの程度使用するのを見極めた改修工事の計画を策定していく。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	品質が平均点以下であるが、市行政サービスの地域拠点である田野総合支所は庁舎の長寿命化をすすめながら継続利用をし、財産の利活用を進めていく。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	適正な執務空間の確保に努めながら、庁舎内の無駄な電気を使用しないように更なる節電に努めていく計画である。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8460	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2818	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停	田野総合支所前(100m)	16.設置条例	宮崎市交流センター条例							
7.開設年月日	平成元年11月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	第一種住居地域									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	<p>「1中学校区に1館」の整備方針のもと、設置しており、地域の生涯学習の場及び地域まちづくりや災害時の拠点として活用されている。しかし、エレベーターがない2階建ての建物であり、バリアフリー対策が不完全である。経年劣化も見られるため、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理に取り組む。</p>		19. 内部							
	 									
13.主な利用者	地域住民	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 127.10 m							
14.利用者駐車可能台数	6台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	1,626.69 m ²		24. 建物情報	総延床面積	2,708.85 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	— (—)				
	土地所有形態				階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1989年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	21,050	108.3	19,428	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	348	100.3	347	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	61	108.0	56	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	122	50.4	242	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	46,066	60.0	76,809	—
	使用料(減免後)②	75	36.6	205	—	施設のコスト	33,917	52.4	64,764	—
	その他③	47	127.0	37	—	事業のコスト	749	116.1	645	—
	《参考》 使用料減免額④	1,920	80.1	2,398	—	人に係るコスト	11,400	100.0	11,400	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	122	50.4	242	—	支出合計⑩	46,066	60.0	76,809	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	96	104.5	92	—	28.工事請負費・修繕費	28,095	51.0	55,052	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	122	50.4	242	—	31. 市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	45,944	60.0	76,567	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.1	100	—	
32.施設所管課	地域コミュニティ課		33.施設主管課	地域コミュニティ課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	8460	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		51.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		48.1			
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	34.000 年	48.0	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	3.000 件	43.3	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		51.3	
② 供給評価	利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	60.000 人	48.8	69.000 人
			稼働率	12.600 %	39.9	27.700 %
			建物1㎡当たりの利用率	0.022 人	38.7	0.057 人
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.458	40.8	1.143
			評価値		42.1	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	99.740 %	45.3	97.660 %
			市負担額(ソフト)前年度比	83.000 %	73.7	100.509 %
			建物1㎡当たりの市負担額	16.961 千円	52.1	24.755 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	2.183 千円	45.2	1.415 千円
			評価値		54.1	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	8460	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価・財務評価は平均点以上である。 供給評価はすべての指標において平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数 【原因】建築後、34年が経過している。 ②【評価指標】劣化度点数 【原因】外壁・内壁にひび割れや欠けがみられる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】昨年度よりも利用率は高いものの、稼働率が低いため利用者数が少ない。 ②【評価指標】稼働率 【原因】農事研修室の稼働率が27.9%であるのに対して、その他の居室の稼働率が10%未満であり低い。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】昨年度よりも利用率は高いものの、稼働率が低いため利用者数が少ない。 ④【評価指標】市負担額千円当たりの利用率 【原因】昨年度よりも年間延べ利用者数は多いが、稼働率が低いため利用者数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設使用料を徴収しているが、減免額が多い。 ②【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】使用料の歳入額が減少したことに伴い、市負担額が増加した。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、交流センターを設置している。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野体育館、光団地、宮崎市消防団田野分団第12部消防団車庫、宮崎市田野伝承芸能館、宮崎市B&G田野海洋センター(プール)、宮崎市田野運動公園、木材町団地、田野駅前広場、田野駅自転車駐車場、宮崎市田野総合支所、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、田野小学校、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野児童センター、上井倉団地、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市消防団田野分団第3部消防団車庫、田野中学校、宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)、南原1号街区公園、南原4号街区公園、南原団地、宮崎市消防団田野分団第9部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第7部消防団車庫、宮崎市田野物産センター、中ノ原1号街区公園、南原3号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野地区交流センター、田野地区交流センター東分館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館、宮崎市田野伝承芸能館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道28号線日南高岡線から市道桜町通り通線を50m程度東進した位置にあり、宮崎市田野総合支所に隣接している。施設の前にバス停があるなど交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治体(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】12億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	8460	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター	利用圏域別分類 地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
15	アンケート(施設利用者)	対象外
16	総合評価(総括)	建物・機能の評価はともに「継続」とする 「総量の最適化」の取り組みとして、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づき適切な維持・管理に取り組む 「質の向上」の取り組みとして、機能は、市負担額を削減するため、使用料や減免対象の見直しを行う
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続
18	建物の評価の理由	建築後30年以上を経過しているものの、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づく適切な維持管理がなされているため、建物の評価は継続とする。
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	定期的かつ計画的に修繕を行い、施設の長寿命化に取り組む。 また、技術主管課の指導を仰ぎ、不具合箇所の早期発見に努める。
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続
21	機能の評価の理由	財務評価は平均点以上である。供給評価は平均点未満であるが、利用率は前年度より増加しており、令和6年度以降は使用基準の改正に伴い、個人での貸館が可能になることや営利事業活動の利用制限緩和等により、更なる利用者数の増加が期待できる。本施設は、生涯学習及び地域活動の拠点としての役割に加え、交流及び地域のまちづくりの拠点として利用されているため、機能の評価は継続とする。
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	宮崎市公共施設等総合管理計画に基づき、「持続可能な、最適な公共施設サービスの提供」を実現するため、「宮崎市公共施設使用料設定基準」を踏まえた施設の使用料や減免対象の見直しを行う。

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8480	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター西分館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町乙3533-1	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停	七野(150m)	16.設置条例	宮崎市交流センター条例							
7.開設年月日	平成06年12月1日	17.市の計画	建物ほ処分、機能は統合・集約の方向で検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野西部地区住民の生涯学習及び地域まちづくりや災害時の拠点として活用されている。築24年が経過したが、現時点では大きな劣化は見られない。	19. 内部	 							
13.主な利用者	地域住民			20.避難所の指定(標高)	指定避難所 139.30 m					
14.利用者駐車可能台数	7台			21.投票所の指定	有					
22. 土地情報	土地面積			1,953.17 m ²		24. 建物情報	総延床面積	350.25 m ²		
	現況地目	宅地		取得価額計(開始時簿価計)	— (—)					
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨					
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)	1994年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	3,039	101.6	2,992	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	348	100.3	347	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	9	101.2	9	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	8	80.0	10	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,937	132.6	2,215	—
	使用料(減免後)②	8	80.0	10	—	施設のコスト	2,937	132.6	2,215	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	711	91.7	775	—	人に係るコスト	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	8	80.0	10	—	支出合計⑩	2,937	132.6	2,215	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	99	100.2	99	—	28.工事請負費・修繕費	357	425.0	84	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	8	80.0	10	—	31.市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,929	132.8	2,205	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.2	100	—	
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	8480	3.利用用途別分類	集会施設																																
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター西分館	4.利用圏域別分類	地域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																																
	品質評価の評価(偏差値)		52.1																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		42.4																																
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>29.000 年</td> <td>52.0</td> <td>31.500 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>43.3</td> <td>1.600 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>53.6</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.9</td> <td>4.400 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.9</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>52.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	29.000 年	52.0	31.500 年	劣化度点数(棟平均)	3.000 件	43.3	1.600 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件	評価値		52.1					
		評価指標	令和5年度	偏差値	平均																														
		築年数(棟平均)	29.000 年	52.0	31.500 年																														
		劣化度点数(棟平均)	3.000 件	43.3	1.600 件																														
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点																														
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点																														
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件																																
評価値		52.1																																	
② 供給評価	利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>9.000 人</td> <td>41.6</td> <td>69.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>5.100 %</td> <td>34.9</td> <td>27.700 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td>0.025 人</td> <td>39.6</td> <td>0.057 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.038</td> <td>48.6</td> <td>1.143</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	9.000 人	41.6	69.000 人	稼働率	5.100 %	34.9	27.700 %	建物1㎡当たりの利用率	0.025 人	39.6	0.057 人	建物1㎡当たりの利用率				土地1㎡当たりの利用率				市負担額千円当たりの利用量	1.038	48.6	1.143	評価値		41.2	
		評価指標	令和5年度	偏差値	平均																														
		日あたり利用者数	9.000 人	41.6	69.000 人																														
		稼働率	5.100 %	34.9	27.700 %																														
		建物1㎡当たりの利用率	0.025 人	39.6	0.057 人																														
		建物1㎡当たりの利用率																																	
土地1㎡当たりの利用率																																			
市負担額千円当たりの利用量	1.038	48.6	1.143																																
評価値		41.2																																	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>99.730 %</td> <td>45.3</td> <td>97.660 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>121.300 %</td> <td>21.9</td> <td>100.509 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>8.363 千円</td> <td>54.4</td> <td>24.755 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.964 千円</td> <td>52.8</td> <td>1.415 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>43.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	市負担割合	99.730 %	45.3	97.660 %	市負担額(ソフト)前年度比	121.300 %	21.9	100.509 %	建物1㎡当たりの市負担額	8.363 千円	54.4	24.755 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.964 千円	52.8	1.415 千円	評価値		43.6					
		評価指標	令和5年度	偏差値	平均																														
		市負担割合	99.730 %	45.3	97.660 %																														
		市負担額(ソフト)前年度比	121.300 %	21.9	100.509 %																														
		建物1㎡当たりの市負担額	8.363 千円	54.4	24.755 千円																														
		土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.964 千円	52.8	1.415 千円																																
評価値		43.6																																	
品質評価の分布図																																			
			供給評価・財務評価の分布図																																
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	8480	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター西分館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は平均点以上である。 供給評価・財務評価は平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度数 【原因】外壁にひび割れや欠けがみられ、建物内部の窓や出入口にがたつき等がみられる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数のうち、会議室利用者が約9割を占めており、その他居室の利用者数が少ない。 ②【評価指標】稼働率 【原因】各居室の年間利用コマ数が低い。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数のうち、会議室利用者が約9割を占めており、その他居室の利用者数が少ない。 ④【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設使用料を徴収しているが、減免額が多い。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】空調等の修繕費や委託料が増額となり、前年度より市負担額が増加した。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、交流センターを設置している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団田野分団第10部消防団車庫、七野小学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野地区交流センター、田野地区交流センター東分館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館、宮崎市田野伝承芸能館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	七野小学校と同一敷地内にあり、国道269号線が施設の約100m南側を走っている。バス停が施設から150mの場所に設置されており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】1.6億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	8480	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター西分館	利用圏域別分類 地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
15	アンケート(施設利用者)	意見なし
16	総合評価(総括)	建物の評価は「処分(廃止、売却、譲渡、貸付)」、機能の評価は「統合・集約」とする。
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止、売却、譲渡、貸付)
18	建物の評価の理由	中学校区ごとに1つずつ交流センターを配置する整備方針に基づかない施設であり、田野地区交流センターの分館として位置付けているが、利用者数・稼働率が低いにも関わらず、施設の維持管理に係る市負担が増加していることから、処分とする。但し、本施設は「七野小学校」に隣接していることから、学校教育児童福祉施設としての利活用ができないか、検討する。
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	-
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約
21	機能の評価の理由	田野中学校区に配置されている田野地区交流センターに統合・集約する。
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の維持管理に係る経費を削減できる。

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8490	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター東分館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲7369-45	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停	ニツ山(820m)	16.設置条例	宮崎市交流センター条例							
7.開設年月日	昭和56年3月1日	17.市の計画	建物ほ処分、機能ほ統合・集約の方向で検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野東地区住民の生涯学習及び地域まちづくりの拠点として活用されている。築36年を経過し、劣化箇所が多く散見される。	19. 内部	 							
13.主な利用者	地域住民									
14.利用者駐車可能台数	10台	20.避難所の指定(標高)	— 140.40 m							
21.投票所の指定	無									
22. 土地情報	土地面積	15,633.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積	560.58 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	— (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1981年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	1,128	202.5	557	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	348	100.3	347	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	3	200.0	2	—	未利用スペース	26 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	27	108.0	25	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,097	103.3	2,997	—
	使用料(減免後)②	27	108.0	25	—	施設のコスト	3,097	103.3	2,997	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	57	87.7	65	—	人に係るコスト	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	27	108.0	25	—	支出合計⑩	3,097	103.3	2,997	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	68	94.0	72	—	28.工事請負費・修繕費	169	33.3	508	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	27	108.0	25	—	31. 市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	3,070	103.3	2,972	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	100.0	99	—	
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	8490	3.利用用途別分類	集会施設																													
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター東分館	4.利用圏域別分類	地域																													
5.基礎評価																																
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																													
	品質評価の評価(偏差値)		47.3																													
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		39.6																													
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>43.000 年</td> <td>41.0</td> <td>31.500 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>4.000 件</td> <td>38.6</td> <td>1.600 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>53.6</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.9</td> <td>4.400 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>47.5</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	43.000 年	41.0	31.500 年	劣化度点数(棟平均)	4.000 件	38.6	1.600 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件	評価値		47.3		
			評価指標	令和5年度	偏差値	平均																										
			築年数(棟平均)	43.000 年	41.0	31.500 年																										
			劣化度点数(棟平均)	4.000 件	38.6	1.600 件																										
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点																										
			クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件																													
評価値		47.3																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>3.000 人</td> <td>40.8</td> <td>69.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>1.100 %</td> <td>32.3</td> <td>27.700 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.006 人</td> <td>33.3</td> <td>0.057 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.367</td> <td>39.6</td> <td>1.143</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>36.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	3.000 人	40.8	69.000 人	稼働率	1.100 %	32.3	27.700 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.006 人	33.3	0.057 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.367	39.6	1.143	評価値		36.5	
評価指標	令和5年度	偏差値	平均																													
日あたり利用者数	3.000 人	40.8	69.000 人																													
稼働率	1.100 %	32.3	27.700 %																													
建物1㎡当たりの利用量率	0.006 人	33.3	0.057 人																													
建物1㎡当たりの利用量率																																
土地1㎡当たりの利用量率																																
市負担額千円当たりの利用量	0.367	39.6	1.143																													
評価値		36.5																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和5年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>99.130 %</td> <td>46.7</td> <td>97.660 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>117.700 %</td> <td>26.8</td> <td>100.509 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>5.476 千円</td> <td>55.1</td> <td>24.755 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>2.722 千円</td> <td>41.8</td> <td>1.415 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	市負担割合	99.130 %	46.7	97.660 %	市負担額(ソフト)前年度比	117.700 %	26.8	100.509 %	建物1㎡当たりの市負担額	5.476 千円	55.1	24.755 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	2.722 千円	41.8	1.415 千円	評価値		42.6					
評価指標	令和5年度	偏差値	平均																													
市負担割合	99.130 %	46.7	97.660 %																													
市負担額(ソフト)前年度比	117.700 %	26.8	100.509 %																													
建物1㎡当たりの市負担額	5.476 千円	55.1	24.755 千円																													
土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	2.722 千円	41.8	1.415 千円																													
評価値		42.6																														
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図																														
			品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)																												

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	8490	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター東分館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価・供給評価・財務評価いずれも平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数 【原因】築43年が経過している。 ②【評価指標】劣化度数 【原因】外壁・内壁にひび割れや欠けがみられ、建物内部の窓や出入口にがたつき等がみられる。冷暖房機に不具合がある箇所がある。 ③【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】誘導用床材等が設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ②【評価指標】稼働率 【原因】各居室の年間利用コマ数が低い。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ④【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設使用料を徴収しているが、減免額が多い。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】委託料等の物件費が増額となり、前年度より市負担額が増加した。 ③【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、交流センターを設置している。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施設 名	ニツ山団地	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施設 の有無。有の場 合は施設名	田野地区交流センター、田野地区交流センター東分館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館、宮崎市田野伝承芸能館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	市道合子ヶ谷尾脇線から市道国道運動広場線を約300m南進した位置にある。周辺にバス停はなく、交通事情は不便である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】2.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	8490	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター東分館	利用圏域別分類 地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
15	アンケート(施設利用者)	意見なし
16	総合評価(総括)	建物の評価は「処分(廃止、売却、譲渡、処分)」、機能の評価は「統合・集約」とする。
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止、売却、譲渡、貸付)
18	建物の評価の理由	中学校区ごとに1つずつ交流センターを配置する整備方針に基づかない施設であり、田野地区交流センターの分館として位置付けしているが、利用者数・稼働率が低いにも関わらず、施設の維持管理に係る市負担が増加していることから、処分とする。
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	-
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約
21	機能の評価の理由	田野中学校区に配置されている田野地区交流センターに統合・集約する。
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の維持管理に係る経費を削減できる。

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8500	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター北分館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町乙10847-1	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停	田野総合支所前(970m)	16.設置条例	宮崎市交流センター条例							
7.開設年月日	平成06年4月1日	17.市の計画	建物ほ処分、機能は統合・集約の方向で検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野北地区住民の生涯学習及び地域まちづくりの拠点として活用されている。築24年が経過しており、施設の一部に劣化が見られる。	19. 内部	 							
13.主な利用者	地域住民			20.避難所の指定(標高)	指定避難所 137.80 m					
14.利用者駐車可能台数	70台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	2,568.73 m ²		24. 建物情報	総延床面積	273.35 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	56306千円 (—)				
	土地所有形態				階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1994年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	1,130	125.7	899	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	348	100.3	347	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	3	123.1	3	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	7	116.7	6	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,718	110.4	2,461	—
	使用料(減免後)②	2	200.0	1	—	施設のコスト	2,718	110.4	2,461	—
	その他③	5	100.0	5	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	245	137.6	178	—	人に係るコスト	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	7	116.7	6	—	支出合計⑩	2,718	110.4	2,461	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	99	99.7	99	—	28.工事請負費・修繕費	75	28.2	266	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	7	116.7	6	—	31.市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,711	110.4	2,455	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	8500	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター北分館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		48.4		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		39.5		
① 品質評価 劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	30.000 年	51.2	31.500 年
		劣化度数(棟平均)	5.000 件	33.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件
		評価値		48.4	
② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	3.000 人	40.8	69.000 人
		稼働率	2.500 %	33.2	27.700 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.012 人	35.3	0.057 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.417	40.2	1.143
		評価値		37.4	
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.740 %	45.3	97.660 %
		市負担額(ソフト)前年比	120.400 %	23.1	100.509 %
		建物1㎡当たりの市負担額	9.918 千円	53.9	24.755 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	2.399 千円	43.8	1.415 千円
		評価値		41.5	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	8500	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター北分館	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価・供給評価・財務評価いずれも平均点未満となっている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】劣化度点数 【原因】基礎部分やにひび割れや欠けがみられ、建物内部の窓や出入口にがたつき等がみられる。冷暖房機に不具合がある箇所がある。 ②【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】車いす使用者用駐車施設が設けられていない。
3	供給評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】利用率率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ②【評価指標】稼働率 【原因】各居室の年間利用コマ数が低い。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの利用率率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ④【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。
4	財務評価の分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設使用料を徴収しているが、減免額が多い。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】委託料等の物件費が増額となり、前年度より市負担額が増加した。 ③【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。
5	定性的な要素の分析 (総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、交流センターを設置している。
6	半径1km以内にある 近隣施設の有無。有 の場合は施設名	仮屋原農村公園、救世の家、田野総合支所文書館、宮崎市田野体育館、光団地、宮崎市消防団田野分団第12部消防団車庫、宮崎市田野伝承芸能館、宮崎市B&G田野海洋センター(プール)、宮崎市田野運動公園、田野文化会館(田野地区交流センター)、宮崎市田野総合支所、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、木材町団地、田野駅自転車駐車場、田野駅前広場
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用途 別分類が同じ)施設 の有無。有の場合 は施設名	田野地区交流センター、田野地区交流センター東分館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館、宮崎市田野伝承芸能館
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道336号線宮崎田野線から市道三角寺下井倉線を約200m北進した位置にあり、田野体育館に隣接している。県道沿いにバス停があり、交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治体(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	8500	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター北分館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	意見なし	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「処分(廃止、売却、譲渡、貸付)」、機能の評価は「統合・集約」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止、売却、譲渡、貸付)	
18	建物の評価の理由	中学校区ごとに1つずつ交流センターを配置する整備方針に基づかない施設であり、田野地区交流センターの分館として位置付けしているが、利用者数・稼働率が低いにも関わらず、施設の維持管理に係る市負担が増加していることから、処分とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	-	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約	
21	機能の評価の理由	田野中学校区に配置されている田野地区交流センターに統合・集約する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の維持管理に係る経費を削減できる。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	8510	3.利用用途別分類	集会施設							
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター南分館	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲11072-1	15.設置根拠法令	地方自治法							
6.バス停	上榎田(890m)	16.設置条例	宮崎市交流センター条例							
7.開設年月日	昭和48年12月1日	17.市の計画	建物ほ処分、機能は統合・集約の方向で検討中							
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 							
9.指定管理期間										
10.用途地域	その他									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野南地区住民の生涯学習及び地域まちづくりの拠点として活用されている。築45年を経過し、施設全体に劣化が見られる。	19. 内部	 							
13.主な利用者	地域住民									
14.利用者駐車可能台数	10台									
20.避難所の指定(標高)	—			162.30 m						
21.投票所の指定	無									
22. 土地情報	土地面積	1,514.89 m ²		24. 建物情報	総延床面積	333.00 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	15930千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1973年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	1,738	168.7	1,030	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	348	100.3	347	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	5	166.7	3	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	3	13.0	23	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,732	107.2	2,548	—
	使用料(減免後)②	1	4.8	21	—	施設のコスト	2,732	107.2	2,548	—
	その他③	2	100.0	2	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	227	166.9	136	—	人に係るコスト	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	3	13.0	23	—	支出合計⑩	2,732	107.2	2,548	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	114.9	87	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	157	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	3	13.0	23	—	31. 市 負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,729	108.1	2,525	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.8	99	—	
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	8510	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	宮崎市田野地区交流センター南分館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		45.3		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		41.6		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	50.000 年	35.6	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	5.000 件	33.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	47.5	0.700 件
		評価値		45.3	
② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	5.000 人	41.1	69.000 人
		稼働率	1.900 %	32.8	27.700 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.015 人	36.3	0.057 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.637	43.2	1.143
評価値		38.4			
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	99.890 %	45.0	97.660 %
		市負担額(ソフト)前年比	115.200 %	30.2	100.509 %
		建物1㎡当たりの市負担額	8.195 千円	54.4	24.755 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	1.570 千円	49.0	1.415 千円
		評価値		44.7	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	8510	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター南分館	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価・供給評価・財務評価いずれも平均点未満となっている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数 【原因】築50年が経過している。 ②【評価指標】劣化点数 【原因】建物の基礎部分・外壁・内壁にひび割れや欠けがみられ、建物内部の窓や出入口にがたつき等がみられる。冷暖房機に不具合がある箇所がある。 ③【評価指標】バリアフリー未対応 【原因】車いす使用者用駐車施設が設けられていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ②【評価指標】稼働率 【原因】各居室の年間利用コマ数が低い。 ③【評価指標】建物1㎡当たりの利用率 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。 ④【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設使用料を徴収しているが、減免額が多い。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】委託料等の物件費が増額となり、前年度より市負担額が増加した。 ③【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】各居室の稼働率が低く、年間延べ利用者数が少ない。
5	定性的な要素の分 析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、交流センターを設置している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団田野分団第9部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第7部消防団車庫、宮崎市田野物産センター、中ノ原1号街区公園、南原3号街区公園、中ノ原2号街区公園、田野南農村運動広場
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野地区交流センター、田野地区交流センター東分館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館、宮崎市田野伝承芸能館
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道343号線鰐塚山田野停車場線から市道築地原黒草線を約30m西進した位置にある。周辺にバス停はなく、交通事情は不便である。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】1.5億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	8510	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野地区交流センター南分館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	意見なし	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「処分(廃止、売却、譲渡、貸付)」、機能の評価は「統合・集約」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止、売却、譲渡、貸付)	
18	建物の評価の理由	中学校ごとに1つずつ交流センターを配置する整備方針に基づかない施設であり、田野地区交流センターの分館として位置付けしているが、利用者数・稼働率が低いにも関わらず、施設の維持管理に係る市負担が増加していることから、処分とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	-	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	統合・集約	
21	機能の評価の理由	田野中学校区に配置されている田野地区交流センターに統合・集約する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の維持管理に係る経費を削減できる。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	1000	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	田野駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2698-1	15.設置根拠法令			
6.バス停	田野駅前(90m)	16.設置条例	宮崎市自転車駐車場条例		
7.開設年月日	昭和53年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	近隣商業地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野駅は1日平均700人程度の乗車人員があり、通勤・通学者などが利用する自転車駐車場の需用に対応するとともに、駅周辺に自転車を放置させないために設置した。施設は、田野駅の南口に田野駅第1自転車駐車場、田野駅第2自転車駐車場、北口に田野駅第3自転車駐車場が設置されている。なお、第3駐車場は道路拡幅に伴い、平成25年4月に移転した。				
13.主な利用者	自転車利用者	20.避難所の指定(標高)	— 126.70 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	316.00 m ²		24.建物情報	
	現況地目	宅地		総延床面積	224.04 m ²
	土地所有形態	所有		取得価額計(開始時簿価計)	9765千円 (—)
	借受面積	0.00 m ²		階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		台	前年比%	台	前年比%
	利用台数2	18,615	70.8	26,280	—
	開場日数	365	100.0	365	—
日あたり利用台数	51	70.8	72	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,394	88.9	1,568	—
	施設のコスト	43	87.8	49	—
	事業のコスト	601	78.2	769	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,394	88.9	1,568	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,394	88.9	1,568	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	地域安全課		33.施設主管課	地域安全課	

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	1000	3.利用用途別分類	その他施設
2.施設名	田野駅自転車駐車場	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		C		
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上				
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満				
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				
	品質評価の評価(偏差値)		55.3		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.3		
① 品質評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	22.500 年	57.0	31.500 年
		劣化度数(棟平均)	0.700 件	54.3	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
	評価値		55.3		
② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用台数	51.000 台	40.6	196.000 台
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率	0.277 台	39.4	0.543 台
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	13.354	40.0	30.227
	評価値		40.0		
③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	46.4	99.716 %
		市負担額(ソフト)前年度比	88.900 %	51.1	89.456 %
		建物1㎡当たりの市負担額	7.576 千円	51.0	7.930 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.075 千円	37.4	0.045 千円
	評価値		46.5		
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
		<p>品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)</p> <p>供給評価(横) / 財務評価(縦)</p>			

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	1000	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は平均点以上、供給評価および財務評価は平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用台数 【原因】田野町にあり、中心市街地を含めた平均値には達していない。 【評価指標】建物1㎡当たりの利用量率 【原因】田野町にあり、中心市街地を含めた平均値には達していない。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量率 【原因】田野町にあり、中心市街地を含めた平均値には達していない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合 【原因】自転車駐車場の利用は無料としているため。 【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】田野町にあり、中心市街地と比較すると利用量は少なく、利用量あたりの市負担額も大きくなるため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	田野駅駐輪場以外に近隣に同じ利用用途の施設は存在しない。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野総合支所、田野文化会館、田野小学校、田野総合福祉館、田野児童センターほか28施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎駅北自転車駐車場、宮崎駅南自転車駐車場、下原自転車保管所、下原第2自転車保管所、一番街第一自転車駐車場、南宮崎駅自転車駐車場、佐土原駅自転車駐車場、清武駅自転車駐車場、別府街区公園(自転車駐車場)、二葉街区公園(自転車駐車場)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	田野駅に隣接しており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2070年代～2090年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	1000	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅自転車駐車場	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は継続、機能の評価も継続とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物は、将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、放置自転車やゴミの不法投棄防止に努め、利用しやすい環境を整える。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均以上であり、施設の老朽化は低く、大規模修繕は不要で、継続して利用可能である。田野駅に隣接し、多くの駅利用者が利用することから現サービスを継続して提供する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	修繕が必要となった際は、耐久性の強い素材を採用し、改修の時期を長期化するよう努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野駅に隣接して設置されており、通勤・通学などの駅利用者の自転車を262台収容できる重要な施設である。駅周辺に自転車を放置させないためにも今後も継続していく。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	照明はLED化した。点灯時間については、照度センサーを使用することで必要最低限の点灯にしている。これらを適切に管理し、今後も光熱費の削減に取り組む。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3750	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設								
2.施設名	宮崎市田野総合福祉館	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2848-1	15.設置根拠法令									
6.バス停	田野総合支所前(180m)	16.設置条例	宮崎市田野総合福祉館条例								
7.開設年月日	平成12年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会)	18. 外観									
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日										
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民の交流、福祉の向上及び健康の維持増進を図る拠点として設置されたもので、高齢者や障がい者及び児童の福祉の増進に関する各種福祉事業を行う地域福祉の拠点施設となっている。建設から13年を経過し、施設の計画的な予防保全に努める必要がある。○指定管理者:宮崎市社会福祉協議会○施設の標高:131.5m										
13.主な利用者	市内外の一般利用者、高齢者、障がい者、介助者、福祉団体等		20.避難所の指定(標高)	— 131.50 m							
14.利用者駐車可能台数	88台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	3,875.37 m ²			24. 建物情報	総延床面積	4,349.80 m ²				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	878195千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	2000年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	58,585	123.2	47,535	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	305	112.1	272	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用量率	192	109.9	175	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	181	88.7	204	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,250	51.2	4,396	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	0	0.0	2,146	—
	その他③	181	88.7	204	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	15,478	120.2	12,876	—		人に係るコスト	2,250	100.0	2,250	—
	指定管理者の収入計⑤	57,365	154.8	37,061	—		指定管理者の支出計⑨	58,371	144.2	40,467	—
	指定管理料⑥	37,530	103.0	36,426	—		施設のコスト	36,992	101.5	36,428	—
	利用料金収入	974	153.4	635	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	18,861	—	0	—		自主事業のコスト	17,073	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	4,306	106.6	4,039	—		
収入合計⑦	57,546	154.4	37,265	—	支出合計⑩	60,621	135.1	44,863	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	100.0	100	—	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	561	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	20,016	2385.7	839	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	39,599	97.5	40,618	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 1,006	29.5	△ 3,406	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	65	72.1	91	—		
32.施設所管課	福祉総務課			33.施設主管課	福祉総務課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	3750	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設
2.施設名	宮崎市田野総合福祉館	4.利用圏域別分類	地域

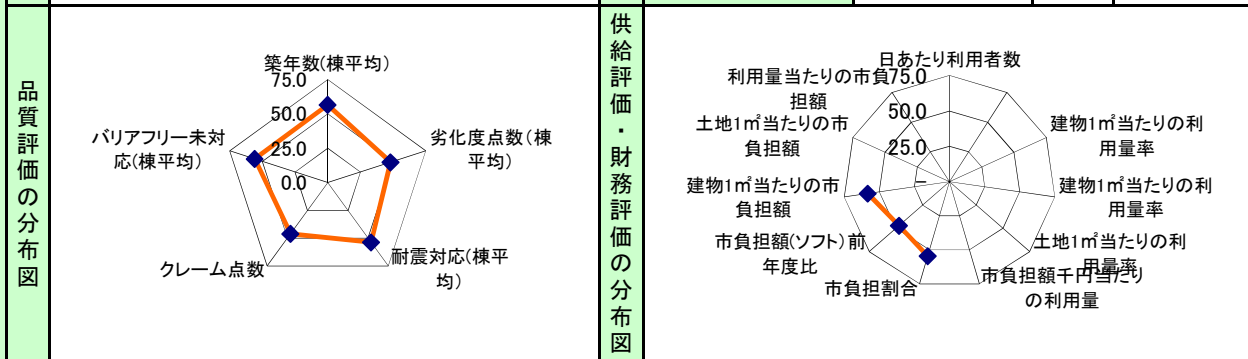
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	A
	品質評価の評価(偏差値)	52.1
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	53.3

① 品質評価 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	23.000 年	56.6	31.500 年
		劣化度数(棟平均)	2.000 件	48.1	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	4.000 点	46.1	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
		評価値		52.1	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率		人		人
		建物1㎡当たりの利用量率		台		台
		土地1㎡当たりの利用量率		人		人
		市負担額千円当たりの利用量				
		評価値				

③ 財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	65.320 %	54.6	75.517 %
		市負担額(ソフト)前年度比	98.900 %	47.1	96.767 %
		建物1㎡当たりの市負担額	9.104 千円	58.2	31.091 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額			
		評価値		53.3	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	3750	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名	宮崎市田野総合福祉館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	基礎評価:A(品質評価:平均点以上、財務評価:平均点以上) 平成12年に建築された施設であり、定期的にメンテナンスを行っているものの、建物の劣化等がみられる。 (社福)宮崎市社会福祉協議会を指定管理者として、利用者の快適な施設利用及び施設管理が図られており、利用者からの苦情等については適宜状況の確認等を行うほか、利用者のマナー向上等を促す取り組みが図られている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】建物の劣化等により、修繕が必要となっている ②【評価指標】クレーム点数 【原因】浴室利用者からのクレーム等が年に数件寄せられている	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】令和4年度(決算)は、新型コロナウイルス感染症に伴う休館等により、光熱水費の戻入が生じたため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域住民の交流、福祉の向上、健康の維持増進を図る拠点施設であり、同じ利用用途の施設は近隣にはない。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	・田野総合支所・田野町文化会館・田野小学校・田野中学校・田野町児童センター・田野学校給食センター・田野駅・B&G田野海洋センター・木材町団地・第2部消防倉庫消防団車庫・南原1号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	JR田野駅から徒歩5分程度で国道269号線沿いに位置しており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】12.7億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	3750	利用用途別分類	医療保健福祉施設
施設名	宮崎市田野総合福祉館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価ともに「継続」とする。「総量の最適化」の取組として、建物は、ESCO事業による空調設備等を含む施設の維持管理費の削減や施設の長寿命化に取り組む。また、市負担額を削減するため、高齢者の入浴料負担など利用料金の見直しに取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	ESCO事業による空調設備の改修後、計画どおりの省エネ効果が確保できるよう維持保全に努め、地域住民の交流、福祉の増進、健康の維持増進を図る拠点施設として、本施設を継続して管理していく。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	「宮崎市総合福祉保健センター等個別施設計画」等に基づき、長期的な視点をもって施設の長寿命化を図るとともに、ESCO事業を活用して導入した空調設備を含め、計画的な施設の維持保全を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	施設内には社会福祉協議会田野支所、サウナ機能付き浴室、シルバー人材センターなどの福祉の向上、地域住民の交流、健康増進のための機能が設置されている。財務評価は平均点以上の評価となっているが、今後も引き続き、施設機能の維持を図るとともに、予防保全的な改修工事等の実施等により施設管理費の縮減に努める。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	令和2年度に実施したESCO事業により光熱水費や維持管理費の削減、設備更新費の縮減が図られるが、今後も機能を継続していくため、サービスを維持できる範囲でエネルギー消費量を抑制する等、光熱水費の削減に努める。また、浴室の利用時間及び利用料金についての見直し等、施設の維持管理費を削減に向けて検討する。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4130	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市田野児童センター	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2823-3	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停	田野総合支所前(170m)	16.設置条例	宮崎市児童館条例								
7.開設年月日	平成07年3月17日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(NPO法人みやさき子ども文化センター)	18. 外観	 								
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日										
10.用途地域	第一種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の子どもたちや子育て中の親子が自由に来館し、安心して遊べる施設であり、「遊びイベント」、「地域団体等と連携した交流事業」、「子育て交流ひろば」などを行うなど、児童の健全育成に努めている。また、施設内に児童クラブを設置している。築28年を経過しており、外壁や内壁などに経年劣化が見られる。		19. 内部	 							
13.主な利用者	児童(満18歳に満たない者)	20.避難所の指定(標高)			— 132.20 m						
14.利用者駐車可能台数	7台	21.投票所の指定			無						
22. 土地情報	土地面積	2,133.90 m ²			24. 建物情報	総延床面積	692.60 m ²				
	現況地目	宅地		取得価額計(開始時簿価計)		— (—)					
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)		地上2階・S・鉄骨					
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)		1995年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	15,580	108.5	14,355	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	294	100.3	293	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用量率	53	108.2	49	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	7,359	87.8	8,377	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,029	15.4	19,618	—
	使用料(減免後)②	444	98.0	453	—		施設のコスト	1,529	8.4	18,118	—
	その他③	6,915	87.3	7,924	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	2,341	2187.9	107	—		人に係るコスト	1,500	100.0	1,500	—
	指定管理者の収入計⑤	18,443	99.9	18,455	—		指定管理者の支出計⑨	13,272	136.5	9,720	—
	指定管理料⑥	13,268	100.0	13,268	—		施設のコスト	1,996	150.9	1,323	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	1,600	150.9	1,060	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	5,175	99.8	5,187	—	人に係るコスト	9,676	131.9	7,337	—		
収入合計⑦	25,802	96.2	26,832	—	支出合計⑩	16,301	55.6	29,338	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	84	439.9	19	—	28.工事請負費・修繕費	1,021	5.7	17,783	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	12,534	92.4	13,564	—	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	8,938	36.5	24,509	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	5,171	59.2	8,735	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	55	65.6	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課			33.施設主管課	子育て支援課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4130	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	宮崎市田野児童センター	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				C	
	品質評価の評価(偏差値)				50.2	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				49.8	
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	29.000 年	52.0	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	5.000 件	33.8	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		50.2	
② 供給評価	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	53.000 人	59.1	35.000 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	1.743	43.9	14.329
			評価値		51.5	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	54.830 %	48.3	47.465 %
			市負担額(ソフト)前年度比	117.700 %	40.0	96.930 %
			建物1㎡当たりの市負担額	12.905 千円	53.4	19.445 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	0.574 千円	50.1	0.578 千円
			評価値		48.0	
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価・財務評価(横) / 品質評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4130	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田野児童センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 C】建物に劣化が見られるために、品質評価が低くなっている。また、利用者数が少なく、供給評価が低いために、財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】雨漏りや外装仕上材の劣化、照明器具の故障が見られる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】利用料を徴収しない施設である且つ、利用者が少ないために利用量の評価が低い。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】国や県の運営費補助制度がない(国は地方交付税措置化)ため、指定管理料等のほとんどを市の一般財源にて負担している。 【評価指標】市負担額(ソフト)前年比【原因】前年度は工事費にかかる国交付金収入があったため歳入の差による前年比増となっている。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設(児童館・児童センター、地区交流センター)が24施設(概ね中学校区に一つ)整備されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野総合支所、宮崎市B&G田野海洋センター、宮崎市田野運動公園、宮崎市田野町物産センター・みちくさ、宮崎市田野総合福祉館、田野中学校、田野小学校、上井倉団地、木材町団地、光団地、南原団地、南原4号街区公園、中ノ原1号街区公園、田野文化会館(農村環境改善センター)、旧田野学校給食センター、宮崎市田野学校給食センター、田野伝承芸能館、南原1号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野中学校、田野小学校、七野小学校、宮崎市田野学校給食センター、さくらが丘児童クラブ(田野小学校・敷地外)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道日南高岡線から市道麓梅谷線を約100m東進した位置にあり、JR田野駅まで500m、施設から約170mの場所にバス停(田野総合支所前)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 ○県内に74施設(うち9施設は休止中)、都城市が14施設(うち民設民営1施設)、三股町が9施設(うち2施設は休止中)、延岡市が7施設(うち民設民営5施設)を設置している。 ○中核市では、盛岡市が40施設と最も多く、設置のない市もある。児童館を設置している市の平均は10施設。(令和5年度都市要覧より)	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4130	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田野児童センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価を「継続」。機能の評価を「継続」とする。「総量の最適化」の取組として、耐用年数50年を経過するまでに更新を行うことで、利用者の確保を行い、利用量あたりの市負担額の削減に努める。「質の向上」として、市と指定管理者が連携し、施設管理費の削減や事業内容の充実に努める。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	品質評価において、劣化度点数の評価が低くなっているが、計画的な予防保全型の修繕に努め、長寿命化を図りながら、児童健全育成の拠点として当面は本施設を継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	建物及び設備を計画的に保全することにより、修繕更新費の削減に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	児童健全育成の拠点施設として児童の安心・安全な居場所となっていることに加え、子育て交流ひろばや育児相談等の対応を行うなど地域の子育て支援施設としても機能する重要な施設となっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	運営費や指定管理料の見直しを行うなど、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	2930	3.利用用途別分類	スポーツ施設							
2.施設名	宮崎市B&G海洋センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2942-1	15.設置根拠法令	スポーツ基本法							
6.バス停	田野総合支所前(470m)	16.設置条例	宮崎市B&G海洋センター条例							
7.開設年月日	昭和60年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(たのたい共同企業体)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	令和05年4月1日～令和10年3月31日									
10.用途地域	第一種住居地域									
11.財産区分	公共用	19. 内部	 							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町に対し、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡された施設であり、隣接する田野中学校や地域住民のスポーツ活動場所として利用されている。標高:134.0m									
13.主な利用者	田野中学校スポーツ少年団一般市民	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	36台	21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	4,597.39 m ²		24. 建物情報	総延床面積	1,102.27 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	7728千円 (—)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1982年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	4,147	28.5	14,552	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	307	99.7	308	—	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用量率	14	28.6	47	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	228	34.9	654	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	5,758	141.2	4,078	—
	使用料(減免後)②	225	34.4	654	—	施設のコスト	5,008	150.5	3,328	—
	その他③	3	—	0	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	3	10.7	28	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	4,000	107.8	3,709	—	指定管理者の支出計⑨	553	45.0	1,228	—
	指定管理料⑥	4,000	107.8	3,709	—	施設のコスト	553	45.0	1,228	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	4,228	96.9	4,363	—	支出合計⑩	6,311	118.9	5,306	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	1	32.0	4	—	28.工事請負費・修繕費	4,972	208.1	2,389	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	228	34.9	654	—	31.市 負担	9,530	133.6	7,133	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	3,447	138.9	2,481	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	151	112.3	134	—	
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	2930	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市B&G海洋センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D		
	品質評価の評価(偏差値)		46.2		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.2		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	42.000 年	41.8	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	4.500 件	36.2	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	43.3	0.700 件
		評価値		46.2	
② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	14.000 人	40.8	61.000 人
		稼働率	23.200 %	40.2	42.500 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.012 人	34.7	0.044 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	0.435	40.7	2.929
		評価値		39.1	
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	151.010 %	46.3	126.206 %
		市負担額(ソフト)前年度比	96.100 %	55.8	107.000 %
		建物1㎡当たりの市負担額	8.646 千円	48.9	8.056 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	2.298 千円	37.9	0.962 千円
		評価値		47.2	
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2930	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G海洋センター(体育館)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から42年経過し、老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後40年以上経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進み基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用率・稼働率、床面積1㎡当たりの利用率、市負担額千円当たりの利用量【原因】施設利用者がほぼ地域住民に限定されており、新規利用者が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たり市負担額、利用量当たりの市負担額【原因】利用率が低く、使用料収入が少ないにもかかわらず、修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費がかかるため。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補充することができるとともに、田野地域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	田野町文化会館、第2部消防倉庫消防団車庫、田野総合支所、田野駅自転車駐車場、木材町団地、田野運動公園、田野小学校、田野総合福祉館ふれあいセンター、田野町児童センター、旧田野学校給食センター、田野中学校、南原1号街区公園、井倉地区コミュニティ消防センター(第3部)消防団車庫、上井倉団地、田野町物産センター・みちくさ、南原団地、田野消防団第3分団第7部消防団車庫、田野消防団第3分団第6部消防団車庫外4箇所	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	田野体育館、田野運動公園、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、二ツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	宮崎市街地から車で30分、国道269号線から県道343号線へ進み、田野中学校の隣にあり、交通事情は良い。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和2年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】3.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設はB&G財団との契約により、施設の無償譲渡契約を締結している。契約解消の条件として、施設を解体し更地にすることと規定されている。	

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	2930	利用用途別分類 スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G海洋センター(体育館)	利用圏域別分類 地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
15	アンケート(施設利用者)	対象外
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。 「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、自主事業の開催等を検討する。
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続
18	建物の評価の理由	施設建設後42年を経過し、老朽化のため修繕工事に対する年間維持管理が増大している。しかし、施設の廃止については、B&G財団との無償譲渡契約等もあり慎重に検討すべきである。当面は、維持管理の経費節減に努めながら、施設の長寿命化に取り組む。
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続
21	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。 使用料改定により使用料収入の増額を図る。

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	2950	3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	宮崎市B&G海洋センター(プール)	4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	田野町乙9541-2	15.設置根拠法令	スポーツ基本法					
6.バス停	田野駅前(570m)	16.設置条例	宮崎市B&G海洋センター条例					
7.開設年月日	昭和60年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(たのたい共同企業体)	18. 外観	 					
9.指定管理期間	令和05年4月1日～令和10年3月31日							
10.用途地域	第一種住居地域							
11.財産区分	公共用							
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町に対し、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から、無償譲渡された施設であり、地元のスポーツ少年団や地域住民のスポーツ活動場所として利用されている。標高:136.1m	19. 内部	 					
13.主な利用者	地域住民スポーツ少年団							
14.利用者駐車可能台数	0台	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m					
22. 土地情報	土地面積 732.28 m ² 現況地目 公園 土地所有形態 借受面積 0.00 m ²	21.投票所の指定	無					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	24. 建物情報	総延床面積	732.28 m ²		
	利用者数	4,698	5,687		取得価額計(開始時簿価計)	— (—)		
	開館日数	99	105		階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート		
	利用量率	48	54		建築年(主たる建物)	1982年		
	利用量率	48	54		法定点検(主たる建物)	未対象		
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	建物所有状況	市有物件			
	市の収入計①(②+③)	270	323	借受面積	0.00 m ²			
	使用料(減免後)②	270	323	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	その他③	0	0	未利用スペース	0 m ²			
	指定管理者の収入計⑤	1,435	1,326					
	指定管理料⑥	1,435	1,326					
	利用料金収入	0	0					
	自主事業収入	0	0					
	その他収入	0	0					
	収入合計⑦	1,705	1,649					
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	0						
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	270	323						
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑧)	18	△ 123						
26. 支出					28.工事請負費・修繕費	407	344.9	118
市の支出計⑧(指定管理料除く)	1,272	146.5	868		31. 市負担額⑪(⑧-①+⑥)	2,437	130.3	1,871
施設のコスト	522	442.4	118		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	91	112.2	81
事業のコスト	0	-	0					
人に係るコスト	750	100.0	750					
指定管理者の支出計⑨	1,417	97.8	1,449					
施設のコスト	934	96.6	967					
自主事業以外のコスト	0	-	0					
自主事業のコスト	0	-	0					
人に係るコスト	483	100.2	482					
支出合計⑩	2,689	116.1	2,317					
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課				

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	2950	3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市B&G海洋センター(プール)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上				-	
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上					
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満					
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満					
	品質評価の評価(偏差値)				36.9	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				-	
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	42.000 年	41.8	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	8.000 件	19.5	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	5.000 件	13.8	0.700 件
	評価値		36.9			
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	47.000 人	-	人
			建物1㎡当たりの利用量率	0.065 人	-	人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	1.928	-	-
	評価値		-			
③財務評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	90.630 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	115.800 %	-	- %
			建物1㎡当たりの市負担額	3.328 千円	-	- 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.519 千円	-	- 千円
	評価値		-			
品質評価の分布図						
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)						
供給評価(横) / 財務評価(縦)						

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2950	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G海洋センター(プール)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から42年経過し、老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数、劣化度点数【原因】施設建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいるため、改修箇所が増えている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】入り口が階段のみで、スロープが未設置である。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	田野町域における唯一のプール施設として、地域住民や地元のスポーツ少年団等の利用者にとって利便性が高い。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	田野伝承芸能館、光団地、田野体育館、田野北地区公民館、下屋敷地区コミュニティ消防センター(第12部)消防団車庫、田野町文化会館、第2部消防倉庫消防団車庫、田野総合支所、田野駅自転車駐車場、木材町団地、田野小学校、田野総合福祉館ふれあいセンター、田野町児童センター、旧田野学校給食センター、田野中学校、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、田野運動公園外2箇所	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	田野体育館、田野運動公園、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、田野南農村運動広場、二ツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	宮崎市街地から車で約30分、国道269号線から県道336号線へ進み、田野運動公園内にあり、交通事情は良い。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和2年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】1.9億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設はB&G財団との契約により、施設の無償譲渡契約を締結している。契約解消する条件として、施設を解体し更地にすることと規定されている。	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2950	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G海洋センター(プール)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を適切な時期に行う。 「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、市内全域を対象とした自主事業の開催を検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	施設建設後42年経過し、老朽化のため修繕工事に対する年間維持管理が増大している。しかし、施設の廃止については、B&G財団との無償譲渡契約等もあり慎重に検討すべきである。当面は、維持管理の経費節減に努めながら、施設の長寿命化に取り組む。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野町域のプール施設として固定的な利用が継続している。利用者の増加のため、施設の整備に努めるとともに、事業等の開催により認知度を高め、市内全域からの利用者の増加を図る。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、利用率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。 使用料改定により使用料収入の増額を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	2960	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市田野運動公園	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町乙9549	15.設置根拠法令	スポーツ基本法		
6.バス停	田野駅前(490m)	16.設置条例	宮崎市都市公園条例		
7.開設年月日	昭和54年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(たのたい共同企業体)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和05年4月1日～令和10年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町域の複合運動施設として設立された。施設標高:135.8m施設概要:多目的グラウンド、野球場、テニスコート4面、武道場、弓道場	19. 内部	 		
13.主な利用者	主にスポーツ少年団や社会人、高齢者の団体利用				
14.利用者駐車可能台数	169台	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
22. 土地情報	土地面積	92,813.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	48,602	149.4	32,526	—
	開館日数	309	100.3	308	—
利用量率	157	149.0	106	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	2,232	91.4	2,441	—
	使用料(減免後)②	2,232	97.2	2,297	—
	その他③	0	0.0	144	—
	《参考》 使用料減免額④	304	217.1	140	—
	指定管理者の収入計⑤	13,976	96.5	14,480	—
	指定管理料⑥	13,000	95.6	13,600	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	900	102.3	880	—
その他収入	76	—	0	—	
収入合計⑦	16,208	95.8	16,921	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	12	208.7	6	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	3,208	96.6	3,321	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	4,689	71.0	6,608	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	31,480	215.5	14,608	—
	施設のコスト	30,730	221.7	13,858	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	9,287	118.0	7,872	—
	施設のコスト	6,057	130.5	4,642	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	3,230	100.0	3,230	—	
支出合計⑩	40,767	181.3	22,480	—	
28.工事請負費・修繕費	21,992	190.8	11,529	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	42,248	164.0	25,767	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	104	90.4	115	—	
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	2960	3.利用用途別分類	スポーツ施設
2.施設名	宮崎市田野運動公園	4.利用圏域別分類	地域

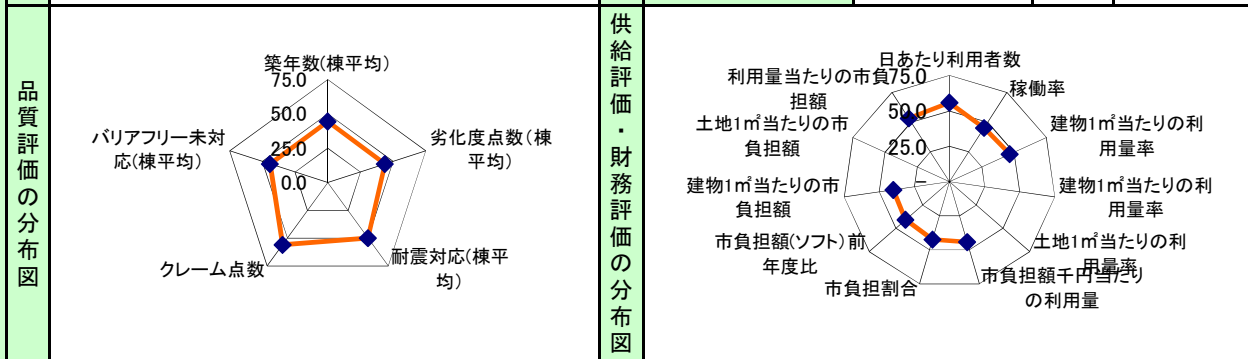
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D
	品質評価の評価(偏差値)	47.7
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	46.1

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	38.500 年	44.5	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	2.900 件	43.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	4.800 点	50.0	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.400 件	44.1	0.700 件
		評価値		47.7	

② 供給評価 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	157.000 人	55.8	126.000 人
		稼働率	23.900 %	45.1	31.100 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.134 人	46.8	0.190 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.150	44.3	18.377
評価値		48.0			

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	103.630 %	42.3	72.700 %
		市負担額(ソフト)前年度比	142.300 %	41.0	100.750 %
		建物1㎡当たりの市負担額	35.976 千円	40.0	23.302 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.869 千円	53.1	1.308 千円
		評価値		44.1	



(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2960	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野運動公園	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から43年経過し、老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後40年以上経過している。 【評価指標】劣化度点数【原因】老朽化が進んでおり、改修箇所が増えている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】階段手摺り、誘導用床材のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】稼働率(コマ利用・定員充足)、床面積1㎡当たりの利用率率、市負担額千円当たりの利用率 【原因】無料公園施設と有料公園施設を併せ持ち面積が広大である。また、平日の稼働率が低く全体を押し下げている。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、市負担額(ソフト)前年度比、建物1㎡当たりの市負担額 【原因】市負担額には無料施設の維持管理も含まれている一方で、無料施設の利用者数は計上(把握)されていないため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能になり、市街地での施設不足を補完することができるとともに、田野町域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野伝承芸能館、光団地、田野体育館、田野北地区公民館、下屋敷地区コミュニティ消防センター(第12部)消防団車庫、田野町文化会館、第2部消防倉庫消防団車庫、田野総合支所、田野駅自転車駐車場、木材町団地、田野小学校、田野総合福祉館ふれあいセンター、田野町児童センター、旧田野学校給食センター、田野中学校、南原1号街区公園、宮崎市B&G海洋センター(体育館)外2箇所	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野体育館、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、二ツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎市街地から車で約30分、国道269号線から県道28号線へ進み、約3km。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和2年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代～2070年代 【建て替えの事業費(概算)】3.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	本施設は、田野町域住民における生涯スポーツの拠点施設であるだけでなく、野球場などについては、キャンプ期間中における市民の利用や大会の開催などの受け皿施設としての機能を有している。	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2960	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野運動公園	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、適切な時期に必要な修繕を行う。 「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、市内全域を対象とした自主事業の開催を検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	施設建設後43年が経過し、老朽化が進み、また施設が多数存在するため、修繕・更新工事に対する年間維持管理費が増大している。今後は計画的な修繕に努めながら、施設の長寿命化に取り組む。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野町域における中核スポーツ施設として利用者も多い。老朽化により維持管理費が必要となるが、稼働率を高めるなど効率的な施設経営に取り組む。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。 使用料改定により使用料収入の増額を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	2980	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市田野体育館	4.利用圏域別分類	地域				
5.所在地(町名・番地)	田野町乙10905-26	15.設置根拠法令	スポーツ基本法				
6.バス停	田野総合支所前(920m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例				
7.開設年月日	昭和51年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(たのたい共同企業体)	18. 外観	 				
9.指定管理期間	令和05年4月1日～令和10年3月31日						
10.用途地域	その他						
11.財産区分	公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町域の拠点体育施設として設立された。施設標高:137.5m施設概要:バレーボール2面、バドミントン6面	19. 内部	 				
13.主な利用者	主に社会人や高齢者の団体利用						
14.利用者駐車可能台数	72台	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 137.50 m				
22. 土地情報	土地面積 5,699.37 m ² 現況地目 宅地 土地所有形態 所有 借受面積 0.00 m ²	21.投票所の指定	無				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	24. 建物情報	総延床面積	1,498.26 m ²	
	利用者数	34,558	26,922		取得価額計(開始時簿価計)	6930千円 (一)	
	開館日数	309	308		階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート	
	利用量率	112	87		建築年(主たる建物)	1976年	
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	法定点検(主たる建物)	対象		
	市の収入計①(②+③)	837	897	建物所有状況	市有物件		
	使用料(減免後)②	836	822	借受面積	0.00 m ²		
	その他③	1	75	耐震対応(主たる建物)	対象外		
	《参考》使用料減免額④	53	33	未利用スペース	0 m ²		
	指定管理者の収入計⑤	9,160	8,932				
	指定管理料⑥	9,000	8,777				
	利用料金収入	0	0				
	自主事業収入	160	155				
	その他収入	0	0				
収入合計⑦	9,997	9,829					
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	6	154.5	4				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	997	94.8	1,052				
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 5,413	63.8	△ 8,487				
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	1,126
市の支出計⑧(指定管理料除く)	4,648	247.8	1,876				
施設のコスト	3,898	346.2	1,126				
事業のコスト	0	-	0				
人に係るコスト	750	100.0	750				
指定管理者の支出計⑨	14,573	83.7	17,419				
施設のコスト	2,273	77.9	2,918				
自主事業以外のコスト	0	-	0				
自主事業のコスト	0	-	0				
人に係るコスト	12,300	84.8	14,501				
支出合計⑩	19,221	99.6	19,295				
31. 市負担	市負担額⑪(⑧-①+⑥)	12,811	131.3	9,756			
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	67	131.8	51			
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課				

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	2980	3.利用用途別分類	スポーツ施設
2.施設名	宮崎市田野体育館	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	B			
	品質評価の評価(偏差値)	45.2			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	51.1			
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	48.000 年	37.1	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	4.500 件	36.2	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	43.3	0.700 件
		評価値		45.2	
② 供給評価 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	112.000 人	59.7	61.000 人
		稼働率	30.300 %	43.8	42.500 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.075 人	64.3	0.044 人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	2.698	49.1	2.929
		評価値		54.2	
③ 財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	66.650 %	58.9	126.206 %
		市負担額(ソフト)前年度比	148.400 %	28.1	107.000 %
		建物1㎡当たりの市負担額	8.551 千円	49.1	8.056 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.371 千円	55.4	0.962 千円
		評価値		47.9	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
		<p>品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)</p> <p>供給評価(横) / 財務評価(縦)</p>			

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2980	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から48年経過し、老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後40年以上経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進み基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】便所等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】稼働率、市負担額千円当たりの利用量【原因】施設利用者がほぼ地域住民に限定されており、新規利用者が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比、建物1㎡当たりの市負担額【原因】施設や設備の老朽化により、修繕費等が必要であったため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補充することができるとともに、田野地域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野北地区公民館、田野伝承芸能館、宮崎市B&G海洋センター(体育館・プール)、宮崎市田野運動公園、田野駅自転車駐車場、田野文化会館、宮崎市田野総合支所、救済の家、仮屋原農村公園、光団地、下屋敷	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	田野運動公園、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、ニツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎市街地から車で約30分、国道269号線から県道28号線へ進み、約3km。田野インターチェンジから車で約10分の田野運動公園の向かいにあり、交通事情は良い。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和2年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】4.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	2980	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野体育館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。 「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、市内全域を対象とした自主事業の開催を検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が48年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野町域における主要な屋内体育施設の一つとして利用者も多く、また、災害時における指定避難所としての役割も担っている。今後も、市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に応じて行うと共に、使用料収入の増加に向けた取組みを図る。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。 使用料改定により使用料収入の増額を図る。	

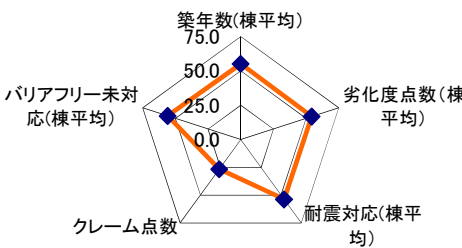
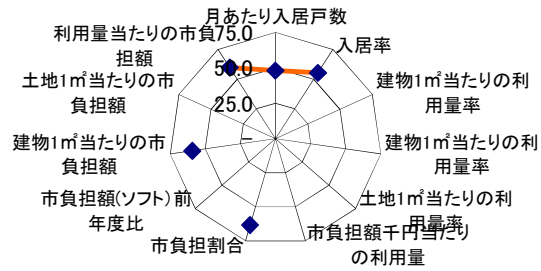
施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5440	3.利用用途別分類	市営住宅等施設		
2.施設名	上井倉団地	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲1721-6	15.設置根拠法令	公営住宅法		
6.バス停	井倉(190m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例		
7.開設年月日	平成10年3月20日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域				
11.財産区分	公共用	19. 内部	 <p style="text-align: center;">写真</p>		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=117.3m				
13.主な利用者	入居者	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
14.利用者駐車可能台数	85台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	6,357.83 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		戸	前年比%	戸	前年比%
	入居戸数	571	103.8	550	—
	入居可能月数	12	100.0	12	—
	利用量率	—	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	3,581.94 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1999年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		15,255	104.8	14,553	—
使用料(減免後)②		15,255	104.8	14,553	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		4,464	96.9	4,609	—
指定管理料⑥		4,464	96.9	4,609	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦	19,719	102.9	19,162	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	819	66.6	1,230	—
	施設のコスト	89	15.8	564	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	730	109.6	666	—
	指定管理者の支出計⑨	4,567	94.6	4,826	—
	施設のコスト	3,232	92.9	3,479	—
	自主事業以外のコスト	267	94.7	282	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	1,068	100.3	1,065	—	
支出合計⑩	5,386	88.9	6,056	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	0	0.0	466	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	15,255	104.8	14,553	—	
	31.市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 9,972	114.4	△ 8,714
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 103	47.5	△ 217	—	
31.市負担	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 185	128.7	△ 144	—
32.施設所管課	住宅課	33.施設主管課	住宅課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5440	3.利用用途別分類	市営住宅等施設			
2.施設名	上井倉団地	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				B	
	品質評価の評価(偏差値)				49.1	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				56.3	
① 品質評価	クレーム点数の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	24.900 年	55.2	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	0.700 件	54.3	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	2.000 点	26.6	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		49.1	
② 供給評価	利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			月あたり入居戸数	48.000 戸	48.2	64.000 戸
			入居率	91.500 %	55.4	81.800 %
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			評価値		51.8	
③ 財務評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	△ 185.150 %	63.3	-42.294 %
			市負担額(ソフト)前年度比			
			建物1㎡当たりの市負担額	△ 2.784 千円	59.2	-0.491 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	△ 17.464 千円	59.7	-3.383 千円
			評価値		60.7	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5440	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	上井倉団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点未満だが、供給・財務評価については平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】設備の不良等。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率率 【原因】建築戸数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が、市全域に点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野総合支所、田野駅自転車駐車場、田野駅前広場、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、井倉地区コミュニティ消防センター(第3部)消防団車庫、宮崎市B&G田野海洋センター(プール)、宮崎市田野運動公園、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童センター、田野中学校、田野小学校、木材町団地、田野文化会館(農村環境改善センター)、宮崎市田野学校給食センター、田野伝承芸能館、南原1号街区公園、南原3号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	市営住宅(木材町団地、二ツ山団地、光団地、南原団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	県営住宅(光町団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】11.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5440	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	上井倉団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において、適正な管理戸数や将来にわたる事業費の平準化を考慮しながら団地別住棟別の事業手法選定を行い、建て替えや修繕等の計画的実施及び予防保全による建物の長寿命化を推進することにより、更新コストやライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別改善で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	直接建設方式による建て替えだけでなく、PFI事業や民間賃貸住宅の借り上げ等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅は、住宅に困窮している低所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用することから機能の評価は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理者制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5450	3.利用用途別分類	市営住宅等施設		
2.施設名	木材町団地	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2695-5	15.設置根拠法令	公営住宅法		
6.バス停	田野駅前(210m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例		
7.開設年月日	昭和57年2月28日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部	 <p style="text-align: center;">写真</p>	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=129.0m				
13.主な利用者	入居者	20.避難所の指定(標高)	— 129.00 m		
14.利用者駐車可能台数	17台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	1,667.01 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		戸	前年比%	戸	前年比%
	入居戸数	168	99.4	169	—
	入居可能月数	12	100.0	12	—
	利用量率	—	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	1,006.40 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1982年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		3,852	104.4	3,689	—
使用料(減免後)②		3,852	104.4	3,689	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		1,373	96.8	1,418	—
指定管理料⑥		1,373	96.8	1,418	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦		5,225	102.3	5,107	—
26. 支出		(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
	千円		前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	443	190.1	233	—
	施設のコスト	218	778.6	28	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	225	109.8	205	—
	指定管理者の支出計⑨	1,900	112.7	1,686	—
	施設のコスト	1,488	117.1	1,271	—
	自主事業以外のコスト	83	95.4	87	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	329	100.3	328	—	
支出合計⑩	2,343	122.1	1,919	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	191	—	0	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	3,852	104.4	3,689	—	
	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 2,036	99.9	△ 2,038	—
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 527	196.6	△ 268	—	
31.市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 87	81.8	△ 106	—	
32.施設所管課	住宅課	33.施設主管課	住宅課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5450	3.利用用途別分類	市営住宅等施設			
2.施設名	木材町団地	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				B	
	品質評価の評価(偏差値)				45.7	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				52.2	
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	42.000 年	41.8	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	0.000 件	57.6	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	3.000 点	36.3	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	39.1	0.700 件
			評価値		45.7	
② 供給評価	② 供給評価 利用率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			月あたり入居戸数	14.000 戸	44.6	64.000 戸
			入居率	87.500 %	53.2	81.800 %
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			評価値		48.9	
③ 財務評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	△ 86.900 %	54.1	-42.294 %
			市負担額(ソフト)前年度比			
			建物1㎡当たりの市負担額	△ 2.023 千円	56.2	-0.491 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	△ 12.119 千円	56.0	-3.383 千円
			評価値		55.4	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5450	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	木材町団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点未満だが、供給・財務評価については平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】建築後、相当年数が経っている。 【評価指標】クレーム点数 【原因】設備の不良等。 【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】対応した建て方をしていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率 【原因】建築戸数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が、市全域に点在している。	
6	半径1km以内に ある近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野総合支所、田野駅自転車駐車場、田野駅前広場、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第3部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第12部消防団車庫、田野文化会館(農村環境改善センター)、宮崎市B&G田野海洋センター(プール、体育館)、宮崎市田野運動公園、宮崎市田野体育館、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童センター、田野中学校、田野小学校、上井倉団地、光団地、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市田野北地区公民館、宮崎市田野伝承芸能館、南原1号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	市営住宅(上井倉団地、二ツ山団地、光団地、南原団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	県営住宅(光町団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】3.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5450	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	木材町団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において、適正な管理戸数や将来にわたる事業費の平準化を考慮しながら団地別住棟別の事業手法選定を行い、建て替えや修繕等の計画的実施及び予防保全による建物の長寿命化を推進することにより、更新コストやライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別改善で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	直接建設方式による建て替えだけでなく、PFI事業や民間賃貸住宅の借り上げ等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅は、住宅に困窮している低所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用することから機能の評価は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理者制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5460	3.利用用途別分類	市営住宅等施設		
2.施設名	ニツ山団地	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲5545-1ほか	15.設置根拠法令	公営住宅法		
6.バス停	ニツ山(270m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例		
7.開設年月日	昭和49年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=135.3m	19. 内部	<p>写真</p>  <p>写真</p> 		
13.主な利用者	入居者				
14.利用者駐車可能台数	18台	20.避難所の指定(標高)	— 135.30 m		
21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	3,010.14 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度		
		戸	前年比%	戸	前年比%
	入居戸数	147	104.3	141	—
	入居可能月数	12	100.0	12	—
利用量率	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	831.99 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	179363千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・W・木造			
	建築年(主たる建物)	2015年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		4,496	121.5	3,699	—
使用料(減免後)②		4,496	121.5	3,699	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		1,202	96.9	1,241	—
指定管理料⑥		1,202	96.9	1,241	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦		5,698	115.3	4,940	—
26. 支出		(区分・単位)	令和5年度	令和4年度	
			千円	前年度比%	千円
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	221	108.9	203	—
	施設のコスト	24	100.0	24	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	197	110.1	179	—
	指定管理者の支出計⑨	1,259	206.7	609	—
	施設のコスト	900	365.9	246	—
	自主事業以外のコスト	72	94.7	76	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	287	100.0	287	—	
支出合計⑩	1,480	182.3	812	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	4,496	121.5	3,699	—	
	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 3,073	136.3	△ 2,255	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 57	△ 9.0	632	—	
31.市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 208	74.8	△ 278	—	
32.施設所管課	住宅課	33.施設主管課	住宅課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5460	3.利用用途別分類	市営住宅等施設			
2.施設名	二ツ山団地	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		52.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.3			
① 品質評価	クレーム点数の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	9.000 年	67.6	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	0.000 件	57.6	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	2.000 点	26.6	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		52.3	
② 供給評価	利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			月あたり入居戸数	12.000 戸	44.4	64.000 戸
			入居率	87.500 %	53.2	81.800 %
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			評価値		48.8	
③ 財務評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	△ 207.640 %	65.4	-42.294 %
			市負担額(ソフト)前年度比			
			建物1㎡当たりの市負担額			
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	△ 20.905 千円	62.1	-3.383 千円
			評価値		63.8	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5460	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	二ツ山団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点以上、供給・財務評価についても平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】設備の不良等。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率 【原因】建築戸数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が、市全域に点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野東地区農村環境改善センター	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	市営住宅(光団地、木材町団地、上井倉団地、南原団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	県営住宅(光町団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2090年代 【建て替えの事業費(概算)】2.6億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5460	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	二ツ山団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において、適正な管理戸数や将来にわたる事業費の平準化を考慮しながら団地別住棟別の事業手法選定を行い、建て替えや修繕等の計画的実施及び予防保全による建物の長寿命化を推進することにより、更新コストやライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別改善で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	直接建設方式による建て替えだけでなく、PFI事業や民間賃貸住宅の借り上げ等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅は、住宅に困窮している低所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用することから機能の評価は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理者制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5470	3.利用用途別分類	市営住宅等施設		
2.施設名	光団地	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町乙.9521ほか	15.設置根拠法令	公営住宅法		
6.バス停	田野総合支所前(690m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例		
7.開設年月日	昭和51年3月25日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域				
11.財産区分	公共用	19. 内部	 <p>写真</p>		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=116.1m				
13.主な利用者	入居者	20.避難所の指定(標高)	— 116.10 m		
14.利用者駐車可能台数	117台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	8,929.06 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		戸	前年比%	戸	前年比%
	入居戸数	640	90.5	707	—
	入居可能月数	12	100.0	12	—
	利用率	—	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	5,196.40 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1978年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対象外			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		21,052	53.1	39,648	—
使用料(減免後)②		10,602	96.5	10,990	—
その他③		10,450	36.5	28,658	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		7,898	96.9	8,154	—
指定管理料⑥		7,898	96.9	8,154	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦	28,950	60.6	47,802	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	21,052	53.1	39,648	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	1,494	△ 209.0	△ 715	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	17,767	52.9	33,594	—
	施設のコスト	16,476	50.8	32,415	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	1,291	109.5	1,179	—
	指定管理者の支出計⑨	6,404	72.2	8,869	—
	施設のコスト	4,041	62.3	6,486	—
	自主事業以外のコスト	474	95.2	498	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	1,889	100.2	1,885	—	
支出合計⑩	24,171	56.9	42,463	—	
28.工事請負費・修繕費	16,289	50.9	32,024	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	4,613	219.7	2,100	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	19	385.9	5	—
32.施設所管課	住宅課	33.施設主管課	住宅課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5470	3.利用用途別分類	市営住宅等施設
2.施設名	光団地	4.利用圏域別分類	地域

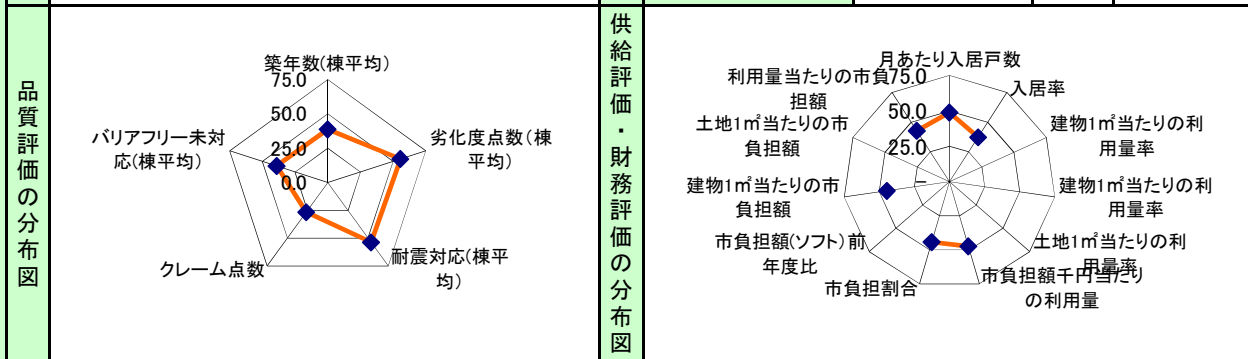
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D
	品質評価の評価(偏差値)	42.8
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	44.2

①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	45.800 年	38.8	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	0.400 件	55.7	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	2.000 点	26.6	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	39.1	0.700 件
		評価値		42.8	

②供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		月あたり入居戸数	53.000 戸	48.9	64.000 戸
		入居率	59.300 %	37.3	81.800 %
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.139	47.4	0.770
評価値		44.5			

③財務評価 市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	19.080 %	44.3	-42.294 %
		市負担額(ソフト)前年度比			
		建物1㎡当たりの市負担額	0.888 千円	44.5	-0.491 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	7.208 千円	42.7	-3.383 千円
		評価値		43.8	



(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度	
台帳番号	5470	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	光団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点未満、供給・財務評価についても平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数(棟平均)、クレーム点数 【原因】建築後、相当年数が経っている。 【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】対応した建て方をしていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率 【原因】建築戸数が少ない。 【評価指標】稼働率、市負担額千円当たりの利用量 【原因】修繕予定のため入居していない部屋が一定数 ある。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たり市負担額、利用量当たりの市負担額 【原因】外壁改修工事等に より、コストが増加した。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が、市全域に点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野総合支所、田野文化会館(農村環境改善センター)、田野総合支所文書庫、田野駅自転車駐車場、田野駅 前広場、宮崎市消防団田野分団第12部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、宮崎市B&G田野海 洋センター(プール)、宮崎市田野運動公園、宮崎市田野体育館、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童セン ター、田野中学校、田野小学校、木材町団地、田野文化会館(農村環境改善センター)、旧田野学校給食センター、救 済の家、仮屋原農村公園、宮崎市田野北地区公民館、宮崎市田野伝承芸能館	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	市営住宅(上井倉団地、木材町団地、二ツ山団地、南原団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	県営住宅(光町団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】16.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5470	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	光団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において、適正な管理戸数や将来にわたる事業費の平準化を考慮しながら団地別住棟別の事業手法選定を行い、建て替えや修繕等の計画的実施及び予防保全による建物の長寿命化を推進することにより、更新コストやライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別改善で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	直接建設方式による建て替えだけでなく、PFI事業や民間賃貸住宅の借り上げ等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅は、住宅に困窮している低所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用することから機能の評価は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理者制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	5480	3.利用用途別分類	市営住宅等施設		
2.施設名	南原団地	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町南原二丁目2-7	15.設置根拠法令	公営住宅法		
6.バス停	学の木(260m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例		
7.開設年月日	平成23年1月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日				
10.用途地域	第一種中高層住居専用地域				
11.財産区分	公共用	19. 内部	 <p>写真</p>		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=136.0m				
13.主な利用者	入居者	20.避難所の指定(標高)	— 136.00 m		
14.利用者駐車可能台数	28台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	2,882.49 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		戸	前年比%	戸	前年比%
	入居戸数	293	99.3	295	—
	入居可能月数	12	100.0	12	—
利用量率	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	1,784.93 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	330603千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上4階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2010年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		7,838	101.1	7,754	—
使用料(減免後)②		7,838	101.1	7,754	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		2,232	96.9	2,304	—
指定管理料⑥		2,232	96.9	2,304	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	10,070	100.1	10,058	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	409	108.5	377	—
	施設のコスト	44	100.0	44	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	365	109.6	333	—
	指定管理者の支出計⑨	2,395	83.4	2,873	—
	施設のコスト	1,727	78.5	2,200	—
	自主事業以外のコスト	134	95.7	140	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	534	100.2	533	—	
支出合計⑩	2,804	86.3	3,250	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	0	—	0	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	7,838	101.1	7,754	—	
	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	△ 5,197	102.4	△ 5,073
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 163	28.6	△ 569	—	
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 185	118.7	△ 156	
32.施設所管課	住宅課	33.施設主管課	住宅課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	5480	3.利用用途別分類	市営住宅等施設			
2.施設名	南原団地	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		50.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.2			
① 品質評価	クレーム点数の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	13.000 年	64.4	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.9	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数	2.000 点	26.6	4.400 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		50.7	
② 供給評価	利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			月あたり入居戸数	24.000 戸	45.7	64.000 戸
			入居率	93.900 %	56.8	81.800 %
			建物1㎡当たりの利用量率			
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			評価値		51.3	
③ 財務評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	△ 185.340 %	63.3	-42.294 %
			市負担額(ソフト)前年度比			
			建物1㎡当たりの市負担額	△ 2.912 千円	59.7	-0.491 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	△ 17.737 千円	59.9	-3.383 千円
			評価値		61.0	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5480	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	南原団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点以上、供給・財務評価についても平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】設備の不良等。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率 【原因】建築戸数が少ない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が、市全域に点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野総合支所、田野文化会館(農村環境改善センター)、田野駅自転車駐車場、宮崎市消防団田野分団第7部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第9部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団田野分団第2部消防団車庫、宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)、田野中学校、田野小学校、宮崎市田野児童センター、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野物産センター、宮崎市田野総合福祉館、中ノ原1号街区公園、中ノ原2号街区公園、南原3号街区公園、南原4号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	市営住宅(上井倉団地、木材町団地、二ツ山団地、光団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	県営住宅(光町団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2090年代 【建て替えの事業費(概算)】5.7億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	5480	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	南原団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において、適正な管理戸数や将来にわたる事業費の平準化を考慮しながら団地別住棟別の事業手法選定を行い、建て替えや修繕等の計画的実施及び予防保全による建物の長寿命化を推進することにより、更新コストやライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別改善で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	直接建設方式による建て替えだけでなく、PFI事業や民間賃貸住宅の借り上げ等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅は、住宅に困窮している低所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用することから機能の評価は継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理者制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	3310	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	鱒塚山山頂トイレ	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲11623	15.設置根拠法令	なし		
6.バス停		16.設置条例	なし		
7.開設年月日	平成08年2月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	鱒塚山は県南部では最高峰であり、県内外から多くの観光客、登山者が景観を楽しむために訪れる。山頂付近の衛生環境の保全のためにトイレ(障がい者対応の簡易水洗トイレ)を設置した。設置場所については、国有林野貸付契約を締結しており、3年毎に更新を行っている。	19. 内部	 		
13.主な利用者	登山者、観光客、各テレビ局電波施設メンテナンス業者等				
14.利用者駐車可能台数	0台				
20.避難所の指定(標高)	—			1,118.00 m	
21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	29.20 m ²			
	現況地目	山林			
	土地所有形態	借受			
	借受面積	29.20 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	29.20 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	15768千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1996年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,051	78.9	1,332	—
	施設のコスト	301	51.7	582	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,051	78.9	1,332	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	68	91.9	74	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,051	78.9	1,332	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	田野・地域市民福祉課		33.施設主管課	田野・地域市民福祉課	

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	3310	3.利用用途別分類	その他施設
2.施設名	鰐塚山山頂トイレ	4.利用圏域別分類	広域・市域

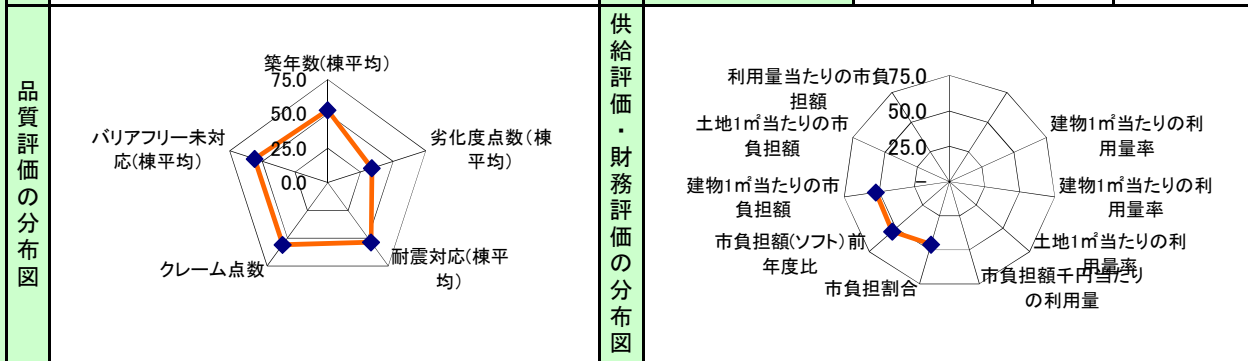
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	A
	品質評価の評価(偏差値)	50.4
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	50.6

① 品質評価 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	28.000 年	52.7	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	5.000 件	33.8	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
		評価値		50.4	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		建物1㎡当たりの利用量率	人		人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量			
		評価値			

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	46.0	81.993 %
		市負担額(ソフト)前年度比	78.100 %	53.5	114.743 %
		建物1㎡当たりの市負担額	35.993 千円	52.3	71.921 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	千円		千円
		評価値		50.6	



(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	3310	利用用途別分類	その他施設
施設名	鱈塚山山頂トイレ	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価については、平均点以上。供給評価・財務評価については、平均点未満である。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 【評価指標】劣化度点数(棟平均) 【原因】・建築後28年経過している。 ・設置箇所が鱈塚山山頂であるため、きめ細かなメンテナンスが困難。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	市負担割合の評価が低い。 【評価指標】市負担割合 【原因】直営で管理している施設である。	
5	定性的な要素の分析(総括)	鱈塚山は県南部では最高峰であり、「わにつか県立自然公園」として、県立自然公園に指定されている。県内外から観光客・登山客が山頂からの景観を楽しむために訪れる。半径1km以内に他のトイレもないことから、公衆衛生上必要な施設である。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	なし	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	田野駅から県道鱈塚山田野停車場線を18kmほど南進した、鱈塚山山頂に位置している。交通手段は、車または麓からの徒歩。田野総合支所から車で片道約40分ほどかかる。なお、冬場は車道の路面凍結の恐れあり。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】0.1億円	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘はない。平成7年度自然公園ふれあい施設整備事業補助金により建設されている。	





(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	3310	利用用途別分類	その他施設
施設名	鱈塚山山頂トイレ	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物は将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	鱈塚山山頂トイレは、築28年以上経過しており、老朽化が顕著となってきたが、日頃の巡視やトイレ清掃を含めた管理により、最小限の修繕で維持できていることから、「継続」とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全に取り組むこととする。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	鱈塚山は県南部では最高峰であり、「わにつか県立自然公園」として、県立自然公園に指定されている。県内外から観光客・登山客が山頂からの景観を楽しむために訪れる。半径1km以内に他のトイレもないことから、公衆衛生上必要な施設であることから、「継続」とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外するとき	鱈塚山頂にあることから、衛生環境の保全に努める上で、現状維持の施設管理が、「総量の最適化」並びに「質の向上」を図る上での、最低限の取り組みと考えている。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	90570	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	鱒塚山頂休憩所	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲国有林68ハ林小班	15.設置根拠法令	なし		
6.バス停		16.設置条例	なし		
7.開設年月日		17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)		18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用	19. 内部			
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	設置の経緯や背景については不明。ただし、登山者が山頂において、風雨を凌ぐ為の休憩所(避難所)としての役割を担っている。				
13.主な利用者	登山者	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	0.00 m ²			
	現況地目				
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	31.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	— (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・CB・コンクリートブロック造			
	建築年(主たる建物)	—			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	73.5	1,020	—
	施設のコスト	0	0.0	270	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
27. 使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	市の収入計① (②+③)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
28. 工事請負費・修繕費	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	0	—	0	—
	支出合計⑩	750	73.5	1,020	—
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	750	73.5	1,020	—	
32.施設所管課	田野・地域市民福祉課	31.市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100
33.施設主管課	田野・地域市民福祉課				

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90570	3.利用用途別分類	その他施設					
2.施設名	鰐塚山頂休憩所	4.利用圏域別分類	広域・市域					
5.基礎評価								
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				A			
	品質評価の評価(偏差値)				53.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				50.0			
① 品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均		
			築年数(棟平均)		年		年	
			劣化度数(棟平均)	2.000	件	48.1	1.600	件
			耐震対応(棟平均)		点			点
			クレーム点数	5.000	点	55.9	4.400	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	55.9	0.700	件
			評価値		53.3			
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均		
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人	
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台	
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人	
			市負担額千円当たりの利用量					
						評価値		
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均		
			市負担割合	100.000	%	46.0	81.993	%
			市負担額(ソフト)前年度比	73.500	%	53.9	114.743	%
			建物1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額		千円			千円
			評価値		50.0			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)						

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	90570	利用用途別分類	その他施設
施設名	鱈塚山頂休憩所	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価及び供給評価・財務評価ともに、平均点以上である。ただし、築年月日が不明であるため、少なくとも55年は経過していることから、現在の施設劣化状況は顕著である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 【評価指標】劣化度点数(棟平均) 【原因】・建築年数が不明。※少なくとも55年は経過している。 ・設置箇所が鱈塚山山頂であるため、きめ細かなメンテナンスが困難。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	市負担割合の評価が低い。 【評価指標】市負担割合 【原因】直営で管理している施設であるが、現在は特別補修等の実施は行われていない。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	鱈塚山は県南部では最高峰であり、「わにつか県立自然公園」として、県立自然公園に指定されている。県内外から観光客・登山客が山頂からの景観を楽しむために訪れる。半径1km以内に同類の施設はない。また、昭和44年にUMK(テレビ宮崎)の中継所建設に支障をきたすことから、現在地に移設されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	なし	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	田野駅から県道鱈塚山田野停車場線を18kmほど南進した、鱈塚山山頂に位置している。交通手段は、車または麓からの徒歩。田野総合支所から車で片道約40分ほどかかる。なお、冬場は車道の路面凍結の恐れあり。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】0.1億円	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘はない。	

(2)施設評価シート

令和6年度		令和6年度
台帳番号	90570	利用用途別分類 その他施設
施設名	鰐塚山頂休憩所	利用圏域別分類 広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
15	アンケート(施設利用者)	対象外
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続
18	建物の評価の理由	鰐塚山頂休憩所は、昭和40年頃に建設されたコンクリートブロック造の施設である。老朽化が顕著となっている。また、施設の設置箇所が人目のつかない場所にあることや、通路も狭く危険であり、施設を撤去することも考えられるが、施設建設の経緯や登山者の安全確保のため、今回の評価は「継続」とする。
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	なし
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続
21	機能の評価の理由	鰐塚山頂休憩所は、昭和40年頃に建設されたコンクリートブロック造の施設である。また、施設の設置箇所が人目のつかない場所にあることや、通路も狭く危険であり、施設を撤去することも考えられるが、施設建設の経緯や登山者の安全確保のため、今回の評価は「継続」とする。
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	なし

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	1020	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	田野駅前広場	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2886-6	15.設置根拠法令	都市公園法令		
6.バス停		16.設置条例	宮崎市駐車場条例及び宮崎市都市公園以外の公園に関する条例		
7.開設年月日	平成20年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	近隣商業地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野駅の利用者の利便性を向上させるため、トイレを備えた駐車場を公園整備と併せて整備した。トイレは、合併後、新市建設事業計画に位置づけて整備した。	19. 内部			
					
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
14.利用者駐車可能台数	32台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	5,838.42 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	24.06 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	8678千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2008年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入		0	—	0	—
収入合計⑦	0	—	0	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,837	83.1	2,211	—
	施設のコスト	1,087	74.4	1,461	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,837	83.1	2,211	—	
28.工事請負費・修繕費	494	85.8	576	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,837	83.1	2,211	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	田野・農林建設課		33.施設主管課	田野・農林建設課	

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	1020	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	田野駅前広場	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				D		
	品質評価の評価(偏差値)				47.5		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				49.6		
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	16.000 年	62.1	31.500 年	
			劣化度点数(棟平均)	10.000 件	10.0	1.600 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件	
			評価値		47.5		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	46.0	81.993 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	82.100 %	53.1	114.743 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	76.351 千円	49.7	71.921 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
			評価値		49.6		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	1020	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅前広場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価・財務評価ともに平均点未満であった。供給評価はなし。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【平均点未満の評価指標】劣化度点数(棟平均)の評価がきわめて低い 【原因】建物は市民が利用するトイレがあるが、平成20年開設以降、特に建て替え等はなく現在に至っており、様々な修繕箇所が発生しているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【平均点未満の評価指標】市負担割合の評価が低い。建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 【原因】市が実施する施設の修繕等の有無によって、年度ごとの支出変動があるため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体に同じ利用用途の施設があるが、田野町域では唯一の広場である。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野総合支所、田野文化会館、宮崎市田野物産センターみちくさ、宮崎市立田野病院、田野小学校、田野 中学校、宮崎市田野児童センター、田野総合福祉館ふれあいセンター、宮崎市田野運動公園、宮崎市田 野伝承芸能館、宮崎市田野B&G海洋センター体育館、市営住宅光団地、市営木材町団地、南原団地、南 原1号街区公園、南原2号街区公園、南原3号街区公園、南原4号街区公園、宮崎市消防団田野分団第2 部消防庫、宮崎市消防団田野分団第7部消防庫、宮崎市消防団田野分団第12部消防庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	田野駅前および市道桜町通り線に隣接しており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野町甲) 【現在の人口】5,119人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	1020	利用用途別分類	その他施設
施設名	田野駅前広場	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価及び機能の評価ともに「継続」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	田野駅利用者の使用頻度が高いため、当面は現状のまま継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	市が管理する施設であるため、草刈り等の委託や光熱水費及び修繕費は市が負担している。所属課でできることを行いつつ、現状を維持しながら、費用削減に取り組む。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野駅利用者の使用頻度が高く、また、田野町域住民のコミュニティの場として利用されることもあるため、当面は現状のまま継続する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	市が管理する施設であるため、草刈り等の委託や光熱水費及び修繕費は市が負担している。所属課でできることを行いつつ、現状を維持しながら、費用削減に取り組む。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4710	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	田野中学校	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2826-3	15.設置根拠法令	学校教育法、中学校設置基準								
6.バス停	田野総合支所前(310m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例								
7.開設年月日	昭和22年5月8日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和22年設置。現在の校舎等は主に昭和43～45年建築の鉄筋コンクリート造3階建て、平成6年に大規模改修を行っている。平成4年に鉄筋コンクリート造2階建て南校舎を新築している。屋内運動場は、平成3年建築の鉄筋コンクリート造平屋建。当校は災害時の避難所に指定されている。近年の生徒数は横ばい傾向にある。		19. 内部								
13.主な利用者	生徒	20.避難所の指定(標高)	指定避難所 133.90 m								
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	24,943.86 m ²		24. 建物情報	総延床面積	6,491.00 m ²					
	現況地目	学校用地			取得価額計(開始時簿価計)	— (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1991年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	生徒数	329	99.7	330	—	借受面積	0.00 m ²				
	利用率	—	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
					未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	1,132	589.6	192	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	36,359	76.7	47,433	—
	使用料(減免後)②	1	100.0	1	—		施設のコスト	28,008	71.3	39,280	—
	その他③	1,131	592.1	191	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	8,351	102.4	8,153	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	1,132	589.6	192	—	支出合計⑩	36,359	76.7	47,433	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	4,273	24.5	17,436	—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	1,132	589.6	192	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	35,227	74.6	47,241	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	97	97.3	100	—		
32.施設所管課	学校施設課			33.施設主管課	学校施設課						

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4710	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	田野中学校	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上		B			
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上					
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満					
	D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満					
	品質評価の評価(偏差値)		47.7			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.5			
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	44.000 年	40.2	31.500 年
			劣化度数(棟平均)	2.800 件	44.3	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.400 件	52.5	0.700 件
		評価値	47.7			
② 供給評価	利用率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			生徒数	329.000 人	45.3	441.000 人
			建物1㎡当たりの利用率			
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
			市負担額千円当たりの利用率	0.009	53.2	0.008
		評価値	49.3			
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	96.890 %	46.8	95.194 %
			市負担額(ソフト)前年度比	103.900 %	50.7	106.497 %
			建物1㎡当たりの市負担額	5.427 千円	54.7	11.759 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用率当たりの市負担額	107.073 千円	54.2	224.153 千円
		評価値	51.6			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4710	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	田野中学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	主な校舎が昭和43～45年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、児童生徒数が少ないため供給評価が低い。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】一部の校舎の築年数が50年を超えているため。 ②【評価指標】劣化度点数(棟平均) 【原因】校舎外壁及び内壁の劣化、給排水設備の不具合がみられるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】利用率 【原因】児童生徒数が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。	
5	定性的な要素の分析 (総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が26校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施設 名	田野小学校、宮崎市田野物産センター・みちくさ、上井倉団地、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)、南原団地、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野児童センター、宮崎市田野地区交流センター、宮崎市田野総合支所、木材町団地、宮崎市田野運動公園、宮崎市B&G田野海洋センター(プール)、光団地ほか9施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	七野小学校、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市田野児童センター、田野小学校	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道日南高岡線の田野支所前交差点から南へ約300mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「田野総合支所」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2040-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】18.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4710	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	田野中学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外するとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4720	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	田野小学校	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2856	15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準								
6.バス停	田野総合支所前(150m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例								
7.開設年月日	明治11年11月3日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 								
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	明治5年設置。現在の校舎等は主に昭和43年～60年建築の鉄筋コンクリート造2階建である。北校舎は、平成20年に鉄筋コンクリート造2階建に改築をした。屋内運動場は、昭和47年建築の鉄骨造平屋建てで老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。平成18年1月に宮崎市立田野小学校となる。通学区域は住宅地、田畑及び山林が広がる地域にある。児童数は近年横ばい傾向にある。		19. 内部								
13.主な利用者	児童	20.避難所の指定(標高)		指定避難所	129.30 m						
14.利用者駐車可能台数	0台			21.投票所の指定	無						
22. 土地情報	土地面積			22,624.00 m ²		24.建物情報	総延床面積	5,864.83 m ²			
	現況地目		学校用地		取得価額計(開始時簿価計)	8032千円 (一)					
	土地所有形態	所有		階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート						
	借受面積	0.00 m ²		建築年(主たる建物)	2008年						
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	生徒数	667	102.3	652	-	借受面積	0.00 m ²				
	利用率	-	-	-	-	耐震対応(主たる建物)	対応済				
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度		26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	1,275	569.2	224	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	44,562	100.5	44,352	-
	使用料(減免後)②	3	100.0	3	-		施設のコスト	36,211	102.0	35,499	-
	その他③	1,272	575.6	221	-		事業のコスト	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-		人に係るコスト	8,351	94.3	8,853	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-		指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-		施設のコスト	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-		自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	0	-	0	-		
収入合計⑦	1,275	569.2	224	-	支出合計⑩	44,562	100.5	44,352	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	28.工事請負費・修繕費	9,460	100.1	9,450	-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,275	569.2	224	-	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	43,287	98.1	44,128	-		
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	97	97.6	99	-		
32.施設所管課	学校施設課		33.施設主管課	学校施設課							

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4720	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	田野小学校	4.利用圏域別分類	地域

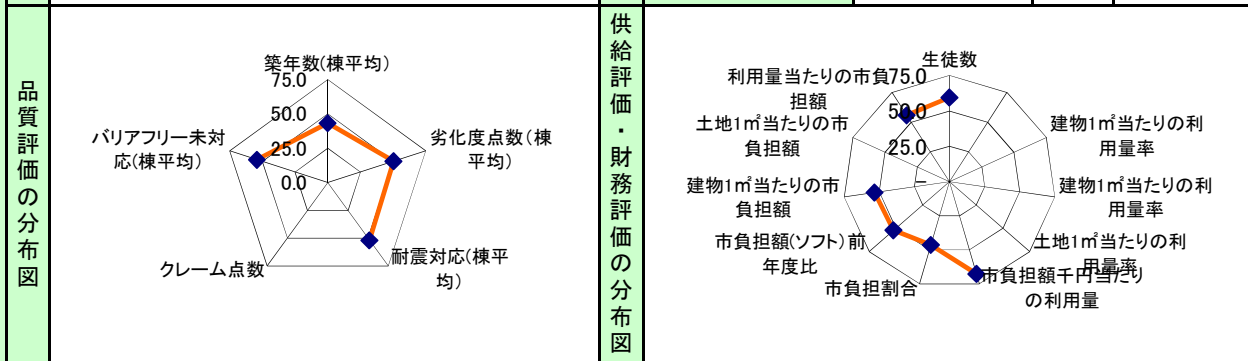
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	A
	品質評価の評価(偏差値)	50.0
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	57.8

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	40.100 年	43.3	31.500 年
		劣化度点数(棟平均)	1.500 件	50.5	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	4.900 点	51.8	4.800 点
		クレーム点数			
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.200 件	54.2	0.700 件
		評価値		50.0	

② 供給評価	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		生徒数	667.000 人	59.4	443.000 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.015	67.7	0.008
		評価値		63.6	

③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	97.140 %	46.3	95.170 %
		市負担額(ソフト)前年度比	97.500 %	52.2	106.534 %
		建物1㎡当たりの市負担額	7.381 千円	53.3	11.848 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	64.898 千円	55.7	225.802 千円
		評価値		51.9	



品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)
----------------------	-------------------

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4720	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	田野小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質・供給・財務ともに平均点以上となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】一部の校舎、及び屋内運動場の築年数が40年を超えているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が26校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中 が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野中学校、宮崎市田野物産センター・みちくさ、上井倉団地、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市B&G 田野海洋センター(体育館)、南原団地、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野児童センター、宮崎市田野 地区交流センター、宮崎市田野総合支所、木材団地、宮崎市田野運動公園、宮崎市B&G田野海洋セン ター(プール)、光団地、田野伝承芸能館、宮崎市田野体育館ほか9施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	七野小学校、宮崎市田野学校給食センター、宮崎市田野児童センター、田野中学校	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道日南高岡線の田野支所前交差点から東へ約170mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「田野 総合支所」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2040-2090年代 【建て替えの事業費(概算)】17億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4720	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	田野小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外するとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	4730	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	七野小学校	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町乙3521-2	15.設置根拠法令	学校教育法、小学校設置基準		
6.バス停	七野(140m)	16.設置条例	宮崎市立学校条例		
7.開設年月日	明治21年10月17日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	明治21年設置。現在の校舎等は主に昭和57年建築の鉄筋コンクリート造3階建てである。屋内運動場は、昭和46年建築の鉄骨造平屋建てで老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。平成18年1月に宮崎市立七野小学校となる。通学区域は田畑や山林が広がる地域にある。児童数は近年横ばい傾向にある。小規模特認制度を活用し通学区域外の児童を受け入れている。		19. 内部		
					
13.主な利用者	児童	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	138.70 m	
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	6,036.21 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		人	前年比%	人	前年比%
	生徒数	50	96.2	52	-
	利用率	-	-	-	-
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	1,141	722.2	158	-
	使用料(減免後)②	3	100.0	3	-
	その他③	1,138	734.2	155	-
	《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-
収入合計⑦	1,141	722.2	158	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	44,171	140.1	31,533	-
	施設のコスト	35,820	141.7	25,280	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	8,351	133.6	6,253	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	44,171	140.1	31,533	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,141	722.2	158	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
28.工事請負費・修繕費	19,843	199.9	9,925	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	43,030	137.1	31,375	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	97	97.9	99	-
32.施設所管課	学校施設課	33.施設主管課	学校施設課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	4730	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	七野小学校	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				D	
	品質評価の評価(偏差値)				48.7	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				37.5	
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	42.600 年	41.3	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	1.200 件	51.9	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	4.800 点	50.0	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	51.7	0.700 件
			評価値		48.7	
② 供給評価	利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			生徒数	50.000 人	33.5	441.000 人
			建物1㎡当たりの利用率			
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.001	33.6	0.008
			評価値		33.6	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	97.420 %	45.7	95.194 %
			市負担額(ソフト)前年度比	108.100 %	49.6	106.497 %
			建物1㎡当たりの市負担額	22.089 千円	42.4	11.759 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	860.600 千円	27.4	224.153 千円
			評価値		41.3	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4730	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	七野小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	昭和57年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、児童生徒数が少ないため供給評価が低く、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎の築年数が30年を超えており、さらにその一部、及び屋内運動場の築年数が40年を超えているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】利用率率、市負担額千円当たりの利用量 【原因】児童生徒数が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たり市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。 ②【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】光熱水費の額が大きいため。 ③【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】児童生徒が少ないため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が26校、国立大附属小・中学校が各1校、県立高校附属中が1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団田野分団第10部消防団車庫、宮崎市田野地区交流センター西分館、宮崎市消防団田野分団第9部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市田野学校給食センター、宮崎市田野児童センター、田野小学校、田野中学校	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道269号田野バイパスと旧国道の七野交差点から北へ約120mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「七野」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2050-2090年代 【建て替えの事業費(概算)】5.7億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	4730	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	七野小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数が古い建物(棟)もあるが、概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外するとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、無駄な電気を使用しないように更なる節電に努める。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9070		3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設	
2.施設名	宮崎市田野学校給食センター		4.利用圏域別分類	地域	
5.所在地(町名・番地)	田野町甲1721		15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法	
6.バス停	井倉(220m)		16.設置条例	宮崎市学校給食センター条例	
7.開設年月日	平成06年4月6日		17.市の計画	現状のまま当面は存続する	
8.施設運営形態(指定管理者)	直営		18. 外観		
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種住居地域				
11.財産区分	公用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条		19. 内部		
					
13.主な利用者	センター事務職員、調理員		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	2,362.11 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	1,124	102.0	1,102	—
	開館日数	203	99.5	204	—
利用率	6	101.9	5	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
収入合計⑦	0	—	0	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	92,310	110.8	83,281	—
	施設のコスト	31,162	169.7	18,367	—
	事業のコスト	15,259	103.7	14,711	—
	人に係るコスト	45,889	91.4	50,203	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	92,310	110.8	83,281	—	
28.工事請負費・修繕費	5,836	321.5	1,815	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	92,310	110.8	83,281	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—	
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	9070	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	宮崎市田野学校給食センター	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		51.0			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		49.1			
① 品質評価	劣化度点数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	30.000 年	51.2	31.500 年
			劣化度点数(棟平均)	3.000 件	43.3	1.600 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
			クレーム点数			
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.9	0.700 件
			評価値		51.0	
② 供給評価	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			利用量率	6.000 人・食	55.7	3.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用量率	0.007 人	42.5	0.012 人
			建物1㎡当たりの利用量率			
			土地1㎡当たりの利用量率			
			市負担額千円当たりの利用量	0.012	42.7	0.019
			評価値		47.0	
③ 財務評価	市負担割合の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	48.6	100.000 %
			市負担額(ソフト)前年度比	106.100 %	54.7	126.336 %
			建物1㎡当たりの市負担額	118.116 千円	51.0	122.363 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	82.126 千円	49.9	80.945 千円
			評価値		51.1	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	9070	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田野学校給食センター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	基礎評価では品質・財務が平均を上回っているが、食数が少ないことから供給評価については平均を下回る水準となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】劣化度点数【原因】平成6年度建築であり築30年が経過している	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指数】建物1㎡当たりの利用量率【原因】施設規模に対して食数が少ないため ②【評価指数】市負担額千円当たりの利用量【原因】直営の施設であるため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指数】市負担割合【原因】食数が少なく、直営の施設であるため ②【評価指数】利用量当たりの市負担額【原因】食数が少なく、直営の施設であるため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	田野小学校、田野中学校、中ノ原1号街区公園、宮崎市田野物産センター・みちくさ、宮崎市田野消防団第3分団第7部消防団車庫、宮崎市田野消防団第4分団第9部消防団車庫、上井倉団地、井倉地区コミュニティ消防センター(第3部)消防団車庫、宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)、南原1号街区公園、南原4号街区公園、南原団地、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野児童センター、第2部消防倉庫消防団車庫、田野文化会館(農村環境改善センター)ほか9施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市田野総合支所、宮崎市田野総合福祉館、宮崎市田野町児童センター、上井倉団地、木材町団地、二ツ山団地、光団地、南原団地、田野文化会館(農村環境改善センター)、宮崎市田野西地区公民館、田野東地区農村環境改善センターほか7施設	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道鰐塚山田野停車場線の田野駅前交差点から東へ約370mの交差点を南に約190mのところ位置し、最寄のバス停留所は、「井倉」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て替 えの時期・事業費 (概算))	令和6年度に給食施設あり方検討事業を立ち上げ、宮崎市全体の給食施設のあり方について検討を行っている。	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	9070	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田野学校給食センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は、「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また、「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託を進めることにより、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の節減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	平成6年築で経年劣化により基礎評価の品質は平均点を下回っているが、施設使用に問題はないため、現サービスを継続し、施設については計画的な保全を行う。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	田野地域全ての市立小中学校へ給食を配送している重要な施設であり、今後、効率的な業務の実施と経費節減に努めながら、本施設での学校給食機能を継続する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外するとき	必要に応じて学校給食調理業務の民間委託を進めることにより、効率的な業務の実施と経費の節減に努め、市負担額の軽減を図る。	

施設カルテ

令和6年度

(1) 施設基本情報シート

1.台帳番号	9820	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	宮崎市田野伝承芸能館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2497-1	15.設置根拠法令	-		
6.バス停	田野駅前(710m)	16.設置条例	宮崎市田野伝承芸能館条例		
7.開設年月日	平成15年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観	 		
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用	19. 内部	 		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	田野地区における民俗芸能の保存及び伝承を図るとともに、市民の交流の促進に寄与するために設置された施設。市無形民俗文化財に指定されている雨太鼓の練習ができる交流室、及び会議室を備える。標高:135.8m				
13.主な利用者	田野町雨太鼓保存会、ひかりダンスブレイス、田野水泳スポーツ少年団	20.避難所の指定(標高)	- 135.80 m		
14.利用者駐車可能台数	50台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	272.55 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	5,028	178.6	2,815	-
	開館日数	307	100.3	306	-
	利用率	16	178.3	9	-
25. 収入	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	124	234.0	53	-
	使用料(減免後)②	124	234.0	53	-
	その他③	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	539	138.6	389	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	124	234.0	53	-	
26. 支出	(区分・単位)	令和5年度		令和4年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	3,035	198.5	1,529	-
	施設のコスト	2,285	293.3	779	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	3,035	198.5	1,529	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	81	92.4	88	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	124	234.0	53	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-	
28.工事請負費・修繕費	1,439	9593.3	15	-	
31.市負担額 (⑧-①+⑥)	2,911	197.2	1,476	-	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	96	99.4	97	-	
32.施設所管課	文化財課	33.施設主管課	文化財課		

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	9820	3.利用用途別分類	集会施設		
2.施設名	宮崎市田野伝承芸能館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		51.0		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.2		
① 品質評価 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	21.000 年	58.2	31.500 年
		劣化度数(棟平均)	2.000 件	48.1	1.600 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.6	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.9	4.400 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	39.1	0.700 件
		評価値		51.0	
② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	16.000 人	42.7	69.000 人
		稼働率	9.300 %	37.7	27.700 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.060 人	51.0	0.057 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用率	1.727	57.8	1.143
		評価値		47.3	
③ 財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和5年度	偏差値	平均
		市負担割合	95.910 %	53.9	97.660 %
		市負担額(ソフト)前年度比	100.800 %	49.6	100.509 %
		建物1㎡当たりの市負担額	10.681 千円	53.7	24.755 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用率当たりの市負担額	0.579 千円	55.3	1.415 千円
		評価値		53.1	
品質評価の分布図	供給評価・財務評価の分布図				
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	9820	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野伝承芸能館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価、財務評価は平均点以上であり、供給評価は平均よりやや低いが、全体の評価はA評価で良好となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】壁タイルの剥がれや浮き、外壁のひび割れ等が見られるため。 【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】専用駐車施設と誘導用床材が整備されていないため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数 【原因】利用者が少ないため。 【評価指標】稼働率 【原因】利用者が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年比 【原因】タイル壁補修工事や門柱撤去工事を施工し、前年度よりも工事請負費が増となったため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	当該施設は、雨太鼓の練習場及び太鼓の保管場所として設置された。現在は、利用者の増加を図るため、多目的な利用用途にも対応して供用している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野運動公園、宮崎市B&G田野海洋センター(プール)、宮崎市田野体育館、宮崎市田野北地区 公民館、田野駅前広場、田野駅自転車駐車場のほか12施設	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ)施 設の有無。有の場 合は施設名	宮崎市田野地区交流センター、宮崎市田野地区交流センター西分館、宮崎市田野地区交流センター東分 館、宮崎市田野地区交流センター北分館、宮崎市田野地区交流センター南分館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道黒北田野線沿いから至近である。公共交通機関では近隣までの路線バスはないものの、JR田野駅が 徒歩圏内である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】397,258人(令和5年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】348,569人(令和32年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】10,955人(令和5年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業費 (概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】1.3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自治 体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

		令和6年度	令和6年度
台帳番号	9820	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市田野伝承芸能館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物・機能の評価はともに「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、施設のコストを抑制しつつ、利用者数の増加に向けた取り組みを検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	利用者が少なく、基礎評価の供給は平均点未満だが、品質、財務は平均点以上のため、現サービスを継続しつつ、施設の利用量率や稼働率を高める取り組みを検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	計画的かつ適正な施設の修繕を行うことにより、建物の長寿命化を図る。なお、積極的な建物構造の改修は行わない。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	財務は平均点以上だが、利用者が少なく、供給評価が平均点未満となっていることから、現サービスを継続しつつ、利用者数の増加に向けた取り組みを検討する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	今後も消耗品の節約、節電等に努め、市負担額の削減に取り組む。あわせて、利用者数の増加に向けた取り組みを検討することにより、使用料の確保に努める。	